



BCP Setting Tool

B-EP シリーズ詳細マニュアル

- このたびは本機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- お読みになったあとは本機のそばなど、いつも手元においてお使いください。



目次

目次	2
1 はじめに	1
対象プリンタ	1
2 起動	2
プリンタ側	2
PC 側	3
3 準備	4
メイン画面	4
メニュー	6
ファイル	6
編集	8
表示	9
カスタム言語ファイル	10
ヘルプ	11
プリンタ	12
USB	14
環境設定	15
[インターフェース]	15
[オプション]	16
パスワード変更	18
処理画面	19
進行画面	19
完了画面	20
進行状況	21
4 機能	23
パラメータ設定	23
一般タブ	25
一般 (2)タブ	29
デバイスタブ	32
LAN タブ	35
無線 LAN タブ [B-EP2DL-G (203dpi)、B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi)]	38
無線 LAN タブ [B-EP4DL-G/T42 (203 dpi/300dpi)]	42
無線 LAN (2)タブ	45
メンテナンス	48
情報タブ	48
設定タブ	49
ダウンロード	54
ファームウェアダウンロードタブ	54
BASIC ダウンロードタブ	56
HTML/XML ROM 作成タブ	59
ツール	61
ツールタブ	61
外字作成タブ	62
テスト印字タブ	65
5 付録	68
エラーメッセージ一覧	68

1 はじめに

このたびは東芝テック製ラベルプリンタ用の設定ツール『BCP Setting Tool』をご利用いただき、誠にありがとうございます。

本書は、『BCP Setting Tool（以下本製品）』の各モデルの機能等の概要を記載した説明書です。

対象プリンタ

本製品は以下のプリンタに対応しています。

- B-EP2DL-G (203dpi)
- B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi)
- B-EP4DL-G/T42 (203dpi/300dpi)

2 起動

プリンタ側

各機能を使用するには、プリンタを下記一覧のモードで起動してください。

機能	プリンタ側
各種パラメータの設定・取得	サービスマン、システム管理者用システムモード
ROM ファイルのダウンロード	ダウンロードモード
メンテナンス情報の取得	サービスマン、システム管理者用システムモード
ログ情報の採取	サービスマン、システム管理者用システムモード
メンテナンスカウンタのクリア	サービスマン、システム管理者用システムモード
パラメータのクリア	サービスマン、システム管理者用システムモード
ヘッド断線チェック	TPCL、TPCL1 モード
リセット	全てのモードで使用できます。
登録エリアのセットアップ	TPCL、TPCL1、LABEL、RECEIPT、RECEIPT1 モード
ファイル送信	全てのモードで使用できます。
テスト印字	TPCL、TPCL1 モード

上記以外の機能は、プリンタのモードに関係なく使用できます。

システムモード、ダウンロードモード以外のプリンタのモードは本製品で設定できます。

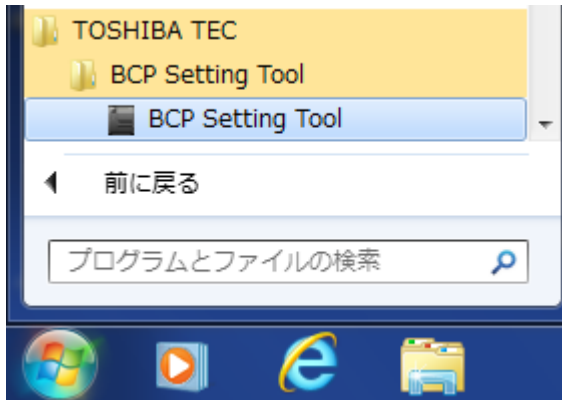
更新したパラメータはプリンタの電源をシャットダウンすると反映されます。

但し、バッテリーの抜き差し等による電源の異常なシャットダウンした場合、動作保障外となりますのでご注意ください。

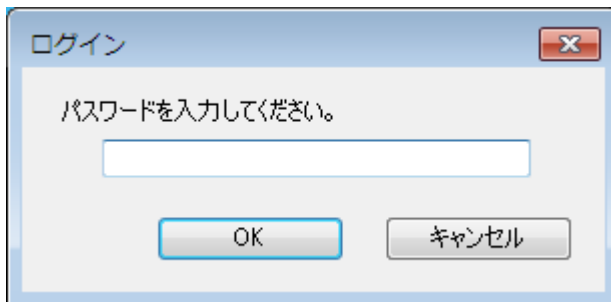
プリンタファームウェアバージョン V1.2 以降では LABEL モード RECEIPT モード、RECEIPT1 モードが使用可能です。

PC側

1. [スタート] – [すべてのプログラム] – [TOSHIBA TEC] – [BCP Setting Tool] の [BCP Setting Tool] をクリックします。



2. パスワードが設定された場合、[ログイン] 画面が表示されます。



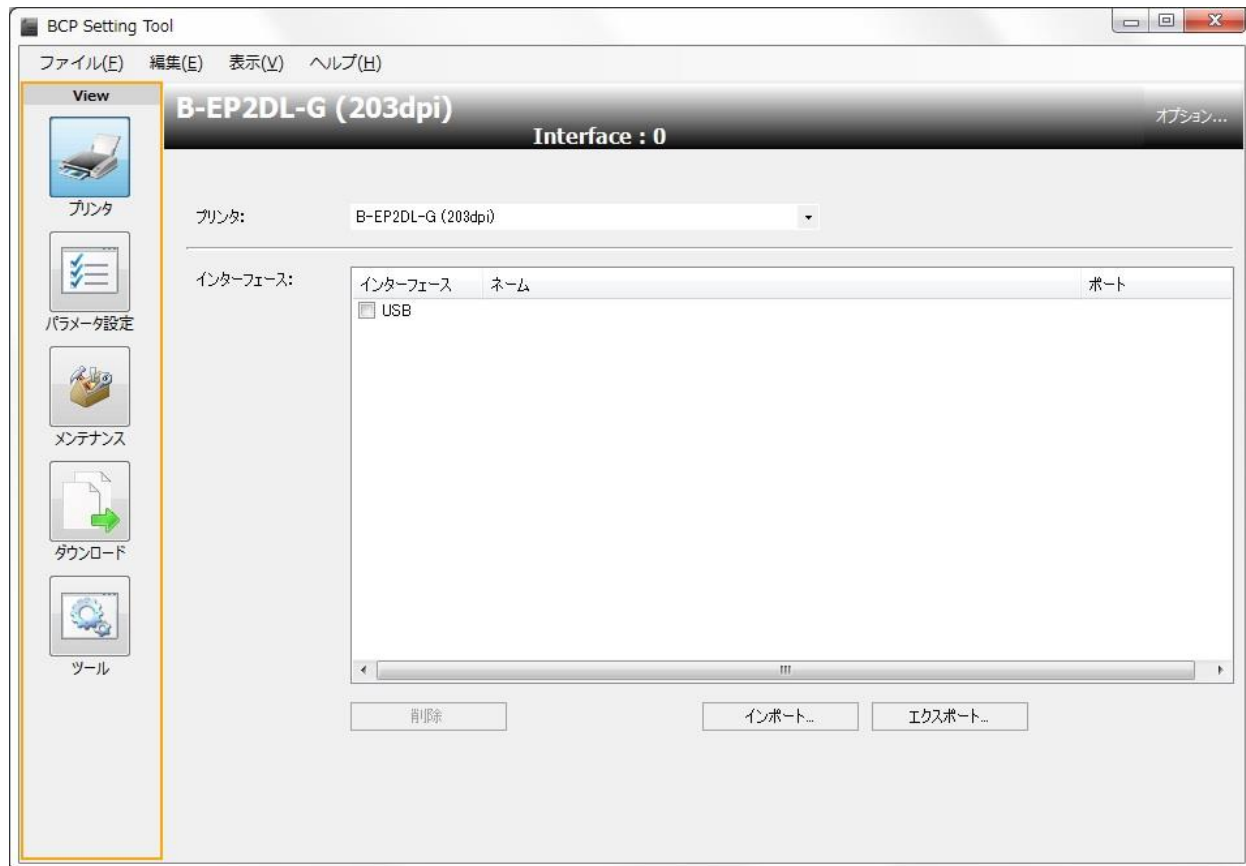
パスワードを入力して、[OK] をクリックしてください。
[キャンセル] をクリックすると、[ログイン] 画面を終了します。
入力した文字は隠し文字で表示されます
パスワードが正しい場合、本製品が起動されます。
パスワードが間違っている場合、エラーメッセージが表示されます。

3. 本製品が起動後、[プリンタ設定] 画面が表示されます。
プリンタとインターフェースを設定して、各機能を実行してください。

3 準備

メイン画面

[プリンタ設定] 画面を表示した状態で起動されます。



メニューバー

各機能の操作を補助するための機能が使用できます。

メニューアイコン

選択した機能に切替えることができます。

アイコンをクリックすると、対応した機能がメインビューに表示されます。

選択したアイコンにはカーソルが置かれ、他のアイコンと違う色で表示されます。

プリンタ： 接続するプリンタのタイプとインターフェースの設定を行ないます。

パラメータ設定： プリンタの各種パラメータの取得、設定を行ないます。
・一般タブ、オプションタブ： 基本的な動作や微調整に関連する設定
・デバイスタブ： インターフェース等のデバイスに関連する設定

メンテナンス： プリンタのメンテナンス情報の取得、初期化を行ないます。・設定タブ： メモリのセットアップ等に関する処理

ダウンロード： プリンタのファームウェアのダウンロードを行います。

ツール： その他の機能を使用できます。
ツールタブ： 選択したファイルのバイナリ送信
外字作成タブ： 外字を登録するための外字ファイルの作成
テスト印字タブ： 通信や印字品質等を確認するためのテスト発行

ヘッダービュー

プリンタと通信する条件が表示されます。

〔プリンタ設定〕画面で指定した設定が反映されます。

〔オプション...〕

本製品の動作条件を変更するための〔環境設定〕画面が表示されます。

表示言語を変更する場合、本製品の再起動が必要です。

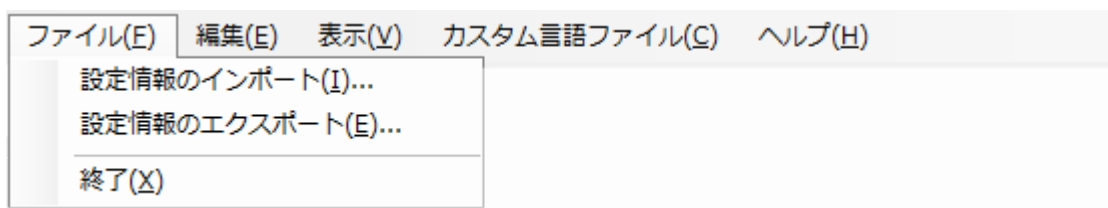
メインビュー

「メニューアイコン」で選択したアイコンに対応した機能の画面が表示されます。

本製品で使用可能な機能は、本画面内の操作で実行します。

メニュー

ファイル



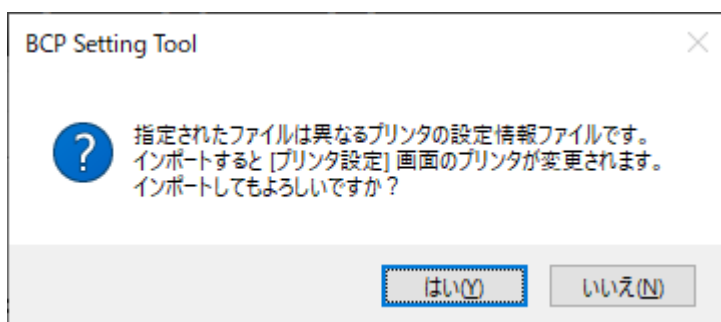
[設定情報のインポート(I)...]

指定したファイルから設定情報を読み出します。

[パラメータ設定] 画面のみで有効になります。

クリックすると、[インポート] 画面が表示されます。設定情報を読み出すファイルを指定して [開く] をクリックすると、インポートが実行されます。

設定情報ファイルが [プリンタ設定] 画面のプリンタのファイルではない場合、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、[プリンタ設定] 画面のプリンタを変更し、インポートを実行します。

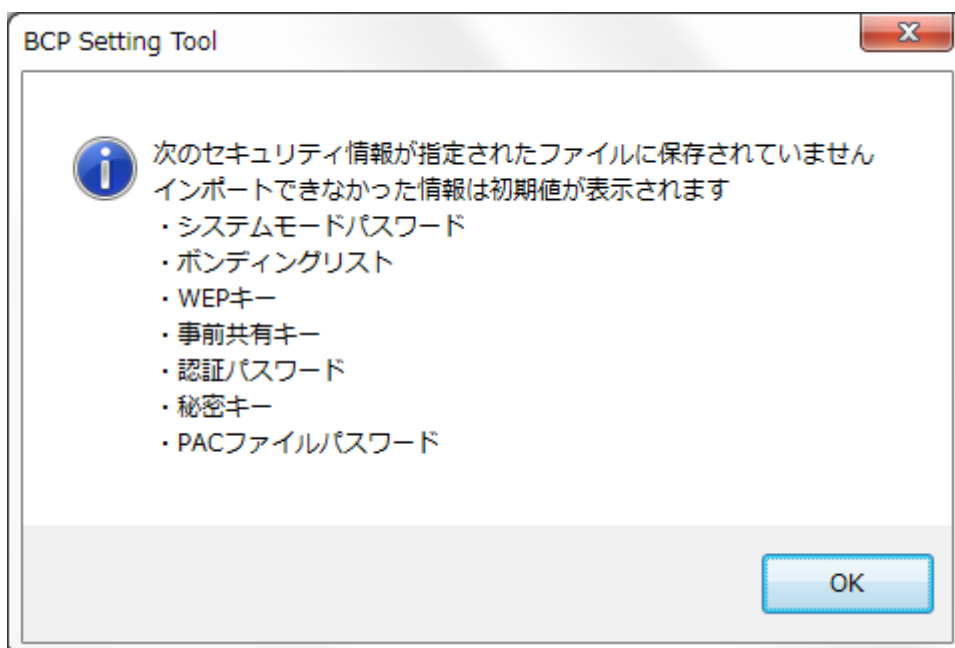
[いいえ] をクリックすると、インポートを中止します。

指定されたファイルが設定情報ファイルではない場合、エラーメッセージが表示されます。

保存したときの設定画面の状態を再現することができます。

パラメータの設定値以外に各グループのチェックボックスの設定も再現されます。

指定したファイルにセキュリティ情報が無い場合、以下のメッセージが表示されます。



※セキュリティ情報の対象となるパラメータは機種やバージョンによって異なります。

指定したファイルにセキュリティ情報がある場合、インポートしたセキュリティ情報は全て隠し文字で表示されます。

[設定情報のエクスポート(E)...]

指定したファイルに設定情報を保存します。

[パラメータ設定] 画面のみで有効になります。

クリックすると、[エクスポート] 画面が表示されます。設定情報を保存するファイルを指定して [保存] をクリックすると、エクスポートが実行されます。

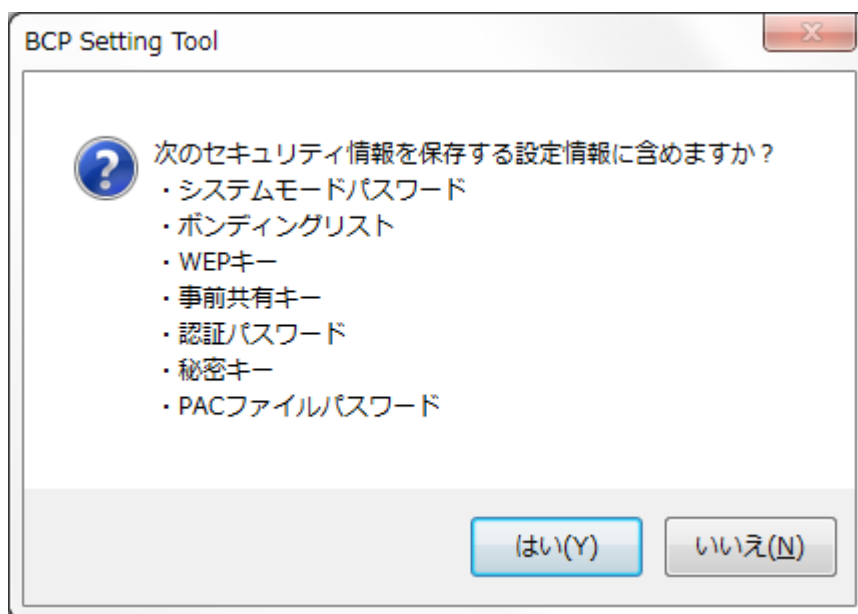
指定されたファイルに書き込みができない場合、エラーメッセージが表示されます。

現在の設定画面の状態が保存されます。

パラメータの設定値以外に各セクションのチェックボックスの設定も保存されます。

※パラメータの設定値が全桁スペースの場合、そのデータは保存されません。

保存する時に以下のメッセージが表示されます。



※セキュリティ情報の対象となるパラメータは機種やバージョンによって異なります。

セキュリティ情報を保存する場合、[はい] をクリックしてください。セキュリティ情報は重要な情報であるため、ファイルの保管には注意してください。

セキュリティに情報を保存しない場合、[いいえ] をクリックしてください。

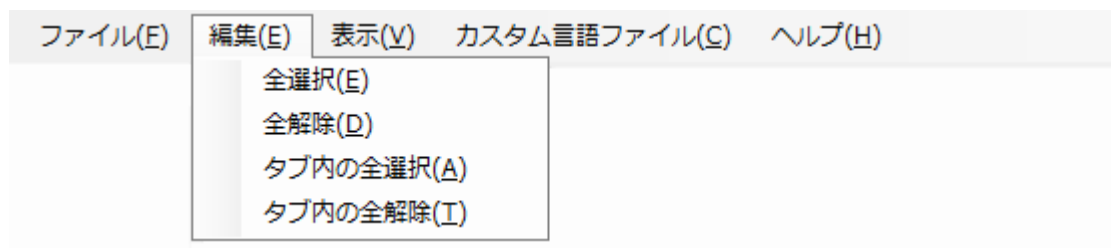
[終了(X)]

現在の設定を破棄して、本製品を終了します。

但し、[プリンタ設定] 画面と [環境設定] 画面の設定は変更時に保存されます。

次の起動時に [プリンタ設定] 画面と [環境設定] 画面以外の画面は初期値で表示されます。

編集



[全選択(E)]

タブに関係なく、全てのグループのチェックボックスをチェック有りにします。
[パラメータ設定] 画面のみで有効になります。

[全解除(D)]

タブに関係なく、全てのグループのチェックボックスをチェック無しにします。
[パラメータ設定] 画面のみで有効になります。

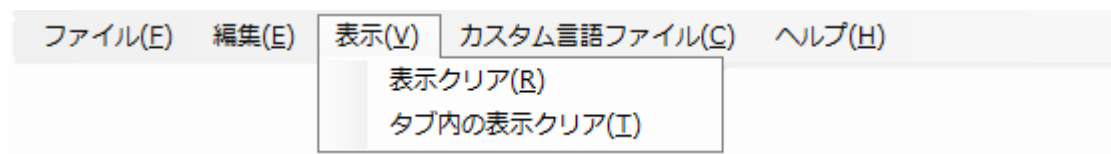
[タブ内の全選択(A)]

タブ内の全てのグループのチェックボックスをチェック有りにします。
[パラメータ設定] 画面のみで有効になります。

[タブ内の全解除(T)]

タブ内の全てのグループのチェックボックスをチェック無しにします。
[パラメータ設定] 画面のみで有効になります。

表示



[表示クリア(R)]

全てのタブの設定値がデフォルト値に戻ります。

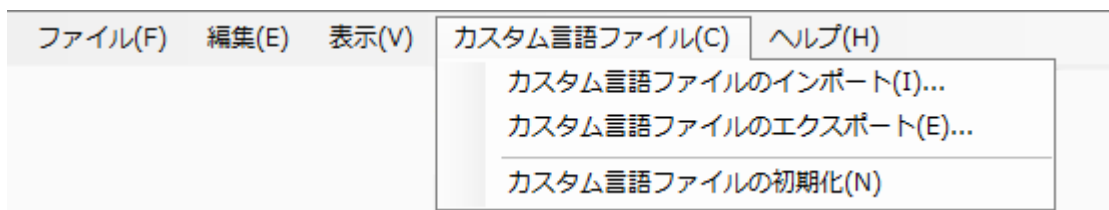
[パラメータ設定] 画面のみで有効になります。

[タブ内の表示クリア(T)]

表示中の画面を起動時の状態に初期化します。

[パラメータ設定] 画面を使用する場合、表示中のタブの設定値がデフォルト値に戻ります。

カスタム言語ファイル



[カスタム言語ファイルのインポート(I)]

指定したファイルからカスタム言語ファイルを読み込みます。

クリックすると、[インポート]画面が表示されます。ファイルの種類を [カスタム言語ファイル(*.CTM)] を選択すると、すべてのプリンタの定義、メッセージのカスタム言語ファイルがインポートされます。[ライセンスファイル(*.rtf)] を選択すると、Open Type Font ダウンロード時の使用許諾文のカスタム言語ファイルがインポートされます。

カスタム言語ファイルを指定して [開く] をクリックすると、インポートが実行されます。

指定されたファイルが設定情報ファイルではない場合、エラーメッセージが表示されます。

[カスタム言語ファイルのエクスポート(E)]

指定したファイルにカスタム言語ファイルを保存します。

クリックすると、[エクスポート]画面が表示されます。ファイルの種類を [カスタム言語ファイル(*.CTM)] を選択すると、すべてのプリンタの定義、メッセージのカスタム言語ファイルをエクスポートします。[ライセンスファイル(*.rtf)] を選択すると、Open Type Font ダウンロード時の使用許諾文のカスタム言語ファイルをエクスポートします。

指定されたファイルに書き込みができない場合、エラーメッセージが表示されます。

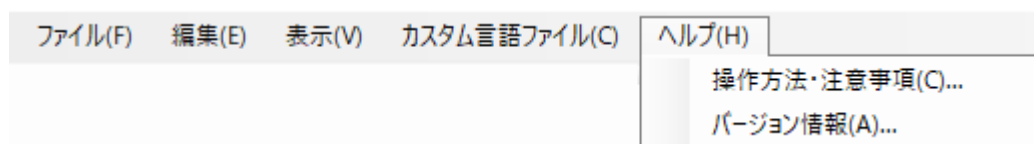
[カスタム言語ファイルの初期化(N)]

確認画面が表示されます。



[いいえ] をクリックすると、初期化を中止します。[はい] をクリックすると、すべてのプリンタの定義、メッセージ、Open Type Font の使用許諾文を英語に戻します。

ヘルプ



[操作方法・注意事項(C)...]

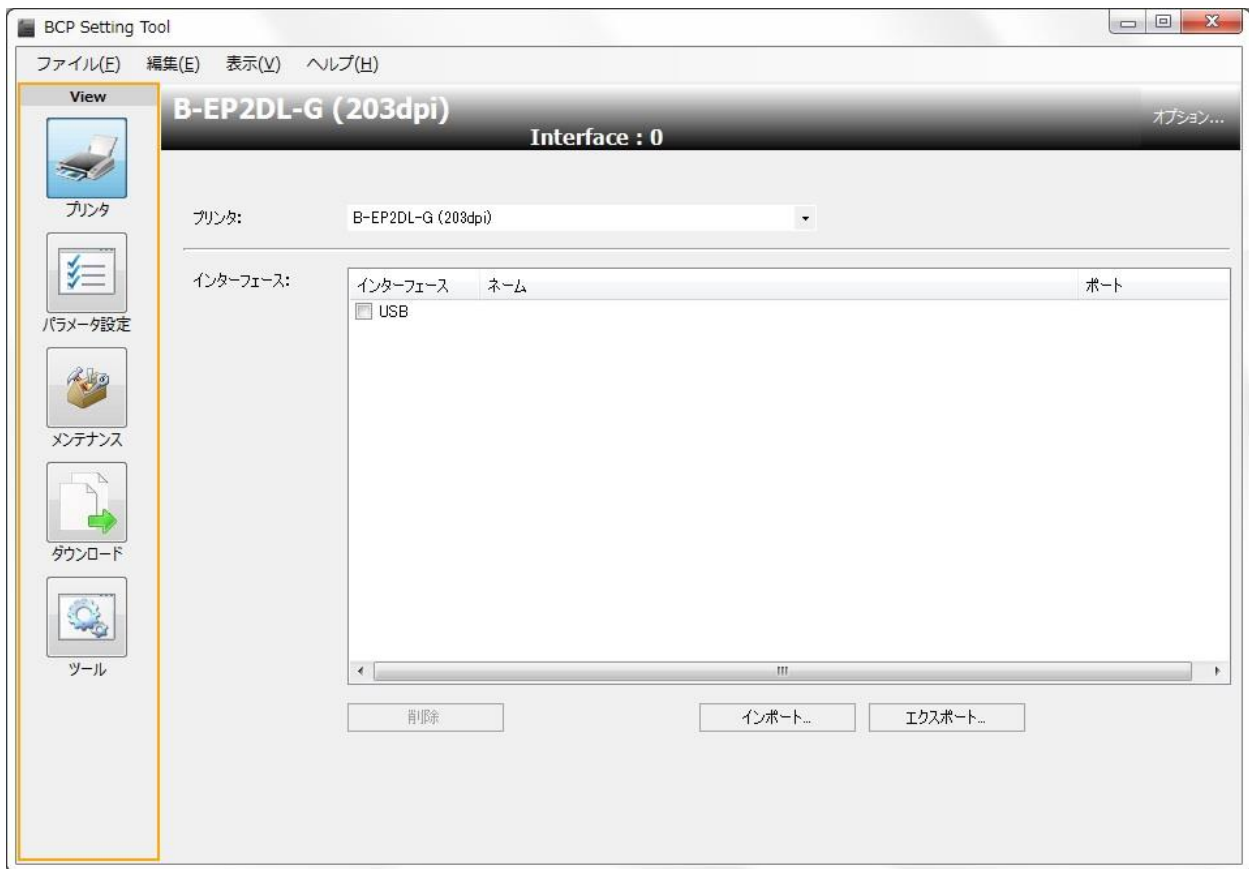
B-EP シリーズ詳細マニュアルを表示します。

[バージョン情報(A)...]

バージョン情報を表示します。

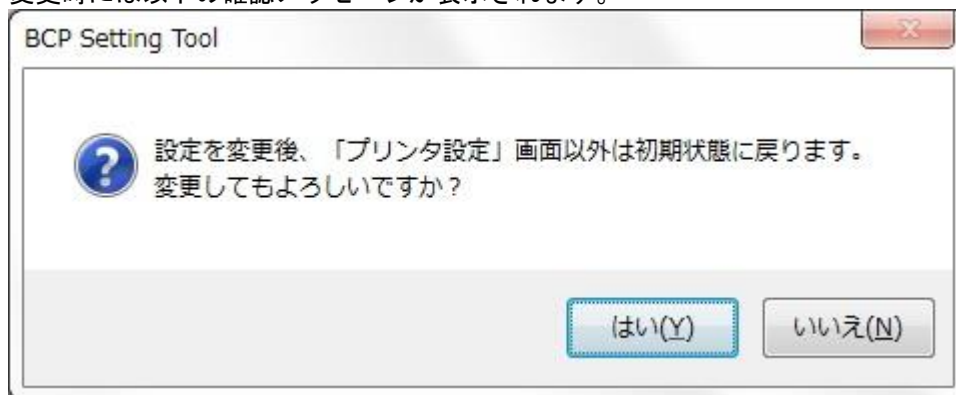
プリンタ

本製品で接続するプリンタのタイプとインターフェースの設定を行ないます。
「メニューアイコン」の「プリンタ設定」をクリックすると、表示されます。



「プリンタ」

接続するプリンタを選択します。
変更する場合、本製品の再起動が必要になります。
選択したプリンタと接続されたプリンタが異なる場合、正常に動作しません。
必ず接続するプリンタと同じプリンタを選択してください。
変更すると「プリンタ」画面以外は初期状態に戻ります。
変更時には以下の確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、設定を保存後、本製品の再起動が実行されます。
「いいえ」をクリックすると、設定を保存しないで、「環境設定」画面に戻ります。

[インターフェース]

接続するインターフェースを選択します。

インストール直後のデフォルト値は、未選択になります。

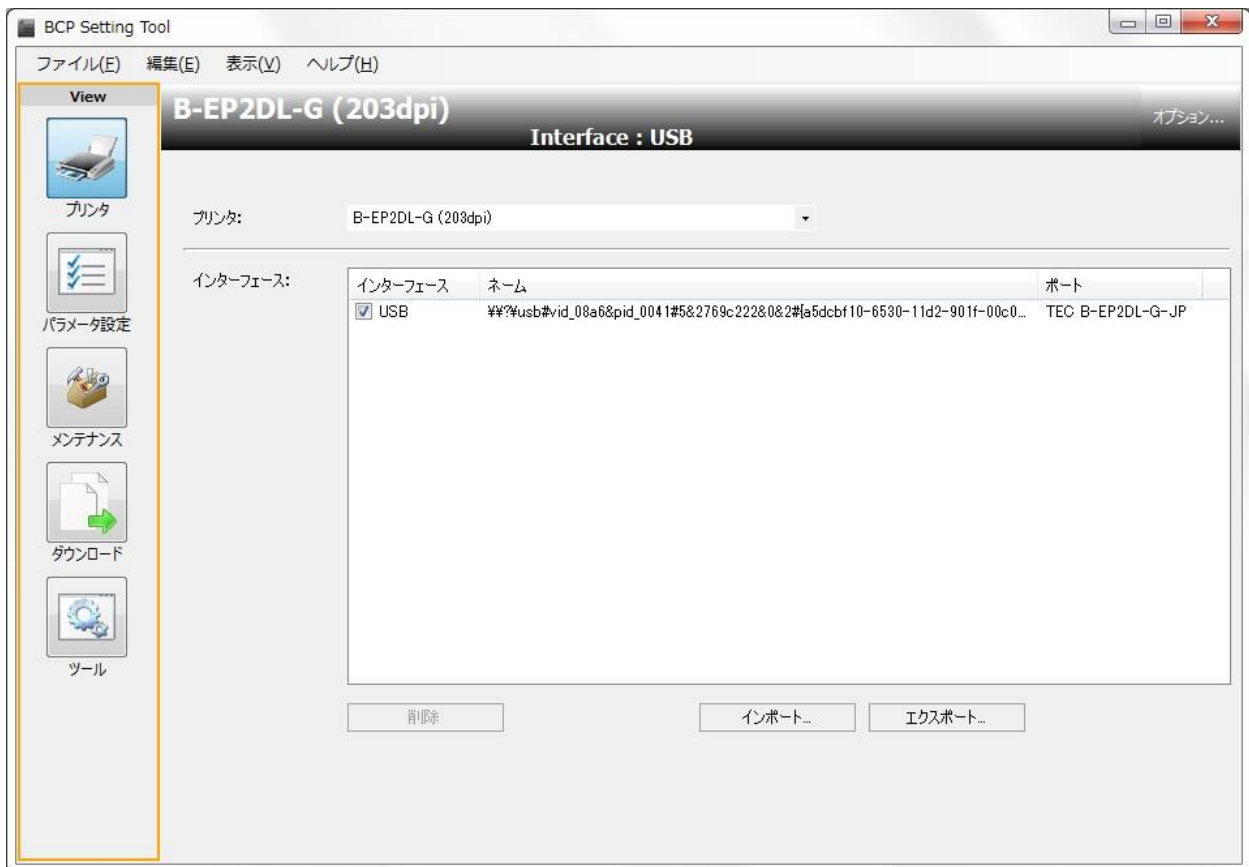
BCP Setting Tool では USB のみ使用可能です。

変更した時点で設定値は保存され、ヘッダービューのインターフェースの表示に反映されます。

選択したインターフェースとその通信パラメータがプリンタへの通信で使用されます。

設定項目	USB
------	-----

USB



PC 本体とプリンタを USB ケーブルで接続すると、自動で有効になります。

環境設定

本製品の動作条件の設定を行ないます。

ヘッダービューの一番横の「オプション...」ボタンをクリックすると、表示されます。

[インターフェース]

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled 'オプション' (Options) with a close button (X) in the top right corner. Inside the dialog, there are two tabs: 'インターフェース' (Interface) and 'オプション' (Options). The 'インターフェース' tab is selected. The settings within this tab are as follows:

- ☒ 複数選択(M) 最大同時通信(A): 10 (spin box)
- ☐ 起動時にパラメータを取得(G)
- LAN (text field)
- デフォルト・ドメイン名(D): (text field)
- USB (text field)
- ☐ 再起動待ち合わせ時間(W): 5 (spin box) 秒

At the bottom of the dialog are two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel).

[複数選択(M)]

設定変更はできません。

[最大同時通信(A)]

設定変更はできません。

[起動時にパラメータを取得(G)]

アプリケーション起動時にパラメータを取得します。

有効なインターフェースが接続されていない場合取得しません。

[デフォルト・ドメイン名(D)]

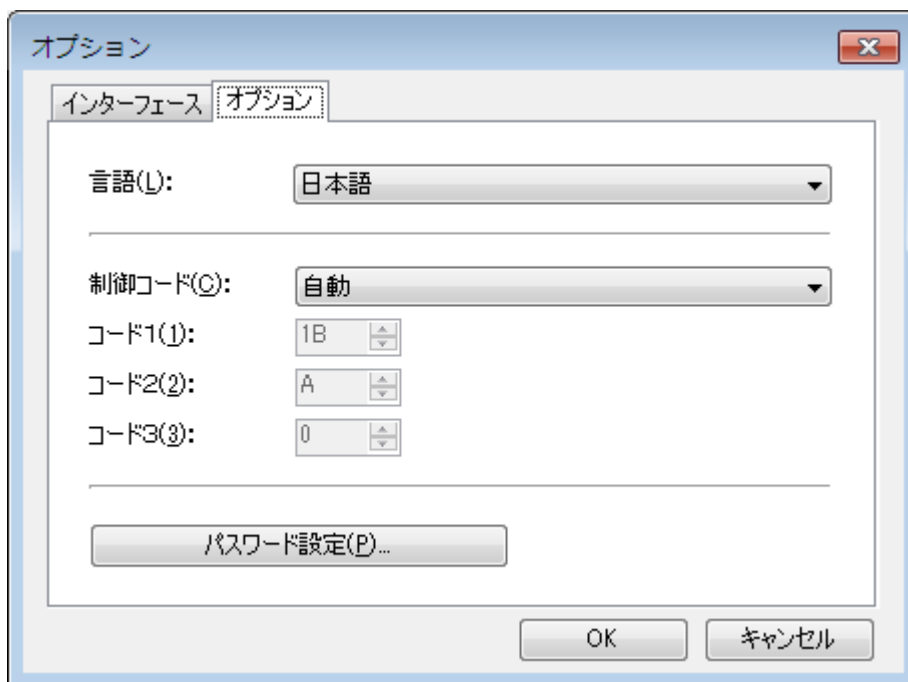
設定変更はできません。

[再起動待ち合わせ時間(W)]

USB 通信でのプリンタが再起動する時の待ち合わせ時間を 1 ～ 1 0 0 秒の範囲で設定します。

通常は変更する必要はありません。

[オプション]



[言語(L)]

本製品を表示するときの言語を選択します。

変更する場合、本製品の再起動が必要になります。

再起動をすると、「プリンタ設定」と「環境設定」以外の画面は初期値で表示されます。

OS 言語が日本語の場合、デフォルト値は日本語になります。

日本語以外の OS ではデフォルト値は英語になります。

設定項目	日本語、英語、中国語、カスタム
------	-----------------

[制御コード(C)]

接続するプリンタに設定された制御コードを選択します。

インストール直後のデフォルト値は、「自動」になります。

プリンタのデフォルト値と同じ設定になっているため、基本的に変更する必要はありません。

プリンタで設定された制御コードに適さない設定をした場合、正常に動作しなくなります。

ダウンロードを行う場合は、自動に設定してください。

設定項目	自動、[ESC] [LF] [NUL]、{ }
------	---------------------------

[コード 1(1)]

設定変更はできません。

[コード 2(2)]

設定変更はできません。

[コード 3(3)]

設定変更はできません。

[パスワード設定(P)...]

本製品にログインするためのパスワードを設定します。

インストール直後はパスワードが設定されていません。

本製品の使用を制限する場合、パスワードの設定を行なってください。

クリックすると、「パスワード変更」画面が表示されます。

パスワードが設定されると起動時に「ログイン」画面でパスワードが必要になります。

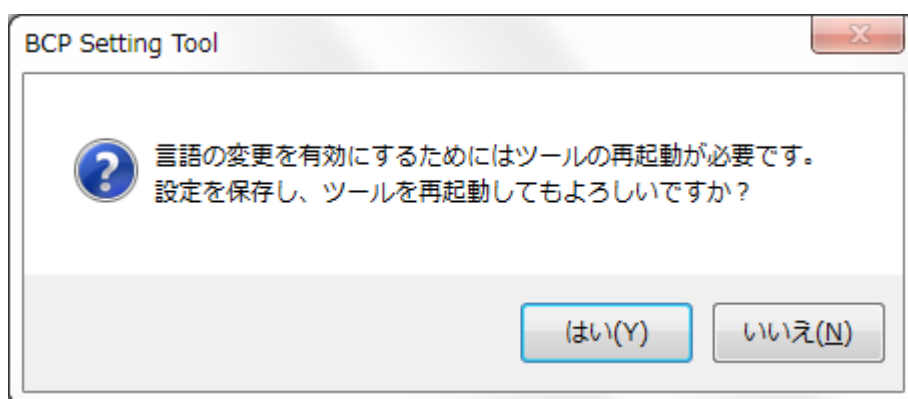
パスワードは最大 16 桁までの半角英数字が使用できます。

大文字と小文字の区別はされます。

[OK]

クリックすると、画面内の設定を保存して、[環境設定] 画面を終了します。

[言語] を変更した場合のみ、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、設定を保存後、本製品の再起動が実行されます。

[いいえ] をクリックすると、設定を保存しないで、[環境設定] 画面に戻ります。

[キャンセル]

クリックすると、現在の設定を破棄して、[環境設定] 画面を終了します。

[パスワード変更] 画面で保存されたパスワードは破棄されません。

パスワード変更

[古いパスワード(O)]

既にパスワードが設定されている場合、現在のパスワードを入力してください。
インストール後に初めて設定するときは、入力する必要はありません。
入力された文字は隠し文字で表示されます。

[新しいパスワード(N)]

新しく設定するパスワードを入力してください。
パスワードの設定を無効にする場合、入力する必要はありません。
入力された文字は隠し文字で表示されます。

[新しいパスワードの確認入力(C)]

確認のために新しく設定するパスワードを入力してください。
パスワードの設定を無効にする場合、入力する必要はありません。
入力された文字は隠し文字で表示されます。

[OK]

クリックすると、新しいパスワードを保存して、[パスワード変更] 画面を終了します。
[環境設定] 画面のキャンセルは、パスワードの保存に影響しません。
[古いパスワード] が間違っている、または、[新しいパスワード] と [新しいパスワードの確認入力] が一致しない場合、エラーメッセージが表示されます。
[古いパスワード] のみを入力した場合、パスワードが無効になります。

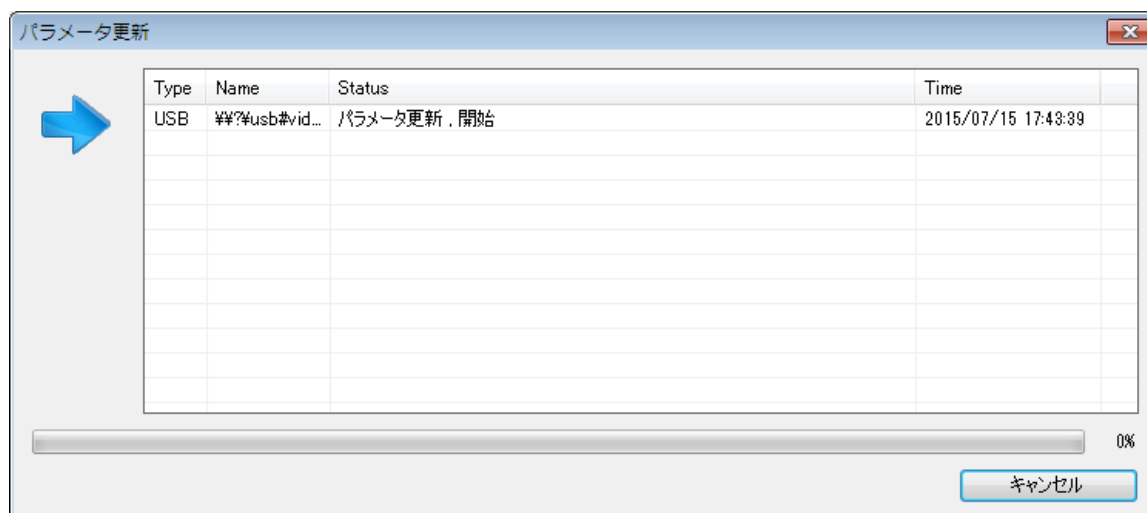
[キャンセル]

クリックすると、現在の設定を破棄して、[パスワード変更] 画面を終了します。

処理画面

プリンタに通信する処理が実行された場合、表示されます。
処理中は進行画面が表示され、完了時は完了画面が表示されます。

進行画面



タイトル

現在の実行されている処理が表示されます。

進行状況

現在の状況がアイコンとテキストとプログレスバーに随時更新されます。

処理中の場合、処理中のアイコンが表示されます。

エラーが発生した場合、処理が中断されます。

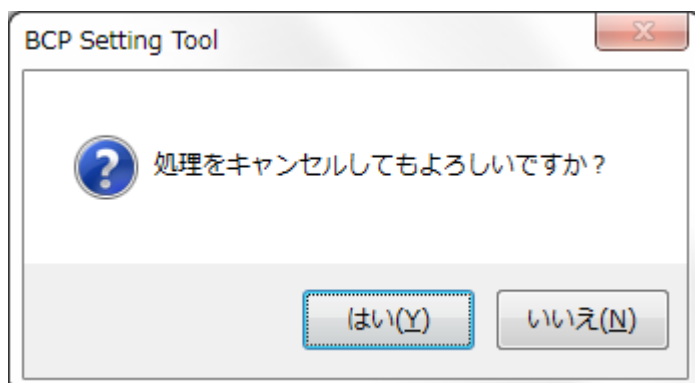
但し、エラーが発生するまでに完了した処理は有効になります。

Multi LAN が設定されている場合、各プリンタの状況に関わらず、全てのプリンタに処理を実行します。

[キャンセル(C)...]

処理を中断します。

クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、中断が実行されます。但し、中断されるまでに完了した処理は有効になります。

「いいえ」をクリックすると、中断をキャンセルします。
確認メッセージを表示している間も継続して処理されます。

現在の実行された処理が表示されます。進捗状況画面のタイトル表示がそのまま引き継がれます。

プログレスバーは 100%になり、最終結果がテキストに表示されます。
正常終了した場合、正常終了のアイコンが表示されます。
エラーにより正常終了しなかった場合、異常終了のアイコンが表示されます。
キャンセルした場合、キャンセル終了のアイコンが表示されます。

指定したファイルに進捗状況のテキストに表示された結果が CSV 形式で保存されます。
クリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。ログデータを保存するファイルを指定して [保存] をクリックすると、保存が実行されます。
指定されたファイルは初期化され、ログデータが保存されます。
指定されたファイルに書き込みができない場合、エラーメッセージが表示されます。

正常終了しなかったプリンタに同じ処理を再実行します。
クリックすると、再実行が開始されます。
正常終了しなかった場合のみ表示されます。

クリックすると、完了画面を終了します。

進行状況

進行状況のテキストの表示で現在の実行中の処理状況が随時追加されます。

進行状況フォーマット：

["デバイス名"] "処理" "プロセス" "詳細状況" ("エラーコード")

処理

現在実行されている処理を表示します。

処理	説明
パラメータ取得	[パラメータ設定] 画面でパラメータの設定値の取得を実行
パラメータ更新	[パラメータ設定] 画面でパラメータの設定値の更新を実行
ファームウェアダウンロード	[ダウンロード] 画面の [ファームウェアダウンロード] タブでダウンロードを実行
プリンタ情報取得	[メンテナンス] 画面の [情報] タブでプリンタ情報の取得を実行
プリンタ情報保存	[メンテナンス] 画面の [情報] タブでプリンタ情報の保存を実行
プリンタリセット	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでプリンタのリセットを実行
ヘッド断線チェック	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでヘッド断線チェックを実行
ログ採取	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでログ採取を実行
メンテナンスカウンタクリア	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでメンテナンスカウンタのクリアを実行
パラメータクリア	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでパラメータクリアを実行
メモリアロケート	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでアロケートを実行
メモリフォーマット	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでフォーマットを実行
ファイル送信	[ツール] 画面の [ツール] タブでファイル送信を実行
テスト印字	[ツール] 画面の [テスト印字] タブでテスト印字を実行

プロセス

現在実行されているプロセスを表示します。

プロセス	説明
開始	処理を開始
成功	処理が終了
終了	
失敗	処理が異常終了
キャンセル	処理をキャンセル終了
プリンタ準備中...	ダウンロードの準備中
プリンタ更新中...	新しいファームウェアの更新中 各種パラメータに設定された値の更新中
"セクション名"ファームウェア書込み中...	ファームウェアダウンロード処理で ROM ファイルを送信中
メモリアロケート	BASIC ダウンロード処理でメモリをアロケート中
メインプログラム更新中...	BASIC ダウンロード処理でメインプログラムを送信および更新中
システムモードプログラム更新中...	BASIC ダウンロード処理でシステムモードプログラムの送信および更新中
データファイル更新中...	BASIC ダウンロード処理でデータファイルの送信および更新中
非サポート	パラメータ取得／更新でプリンタからの応答がタイムアウトとなった

詳細状況

終了した時の詳細状況を表示します。

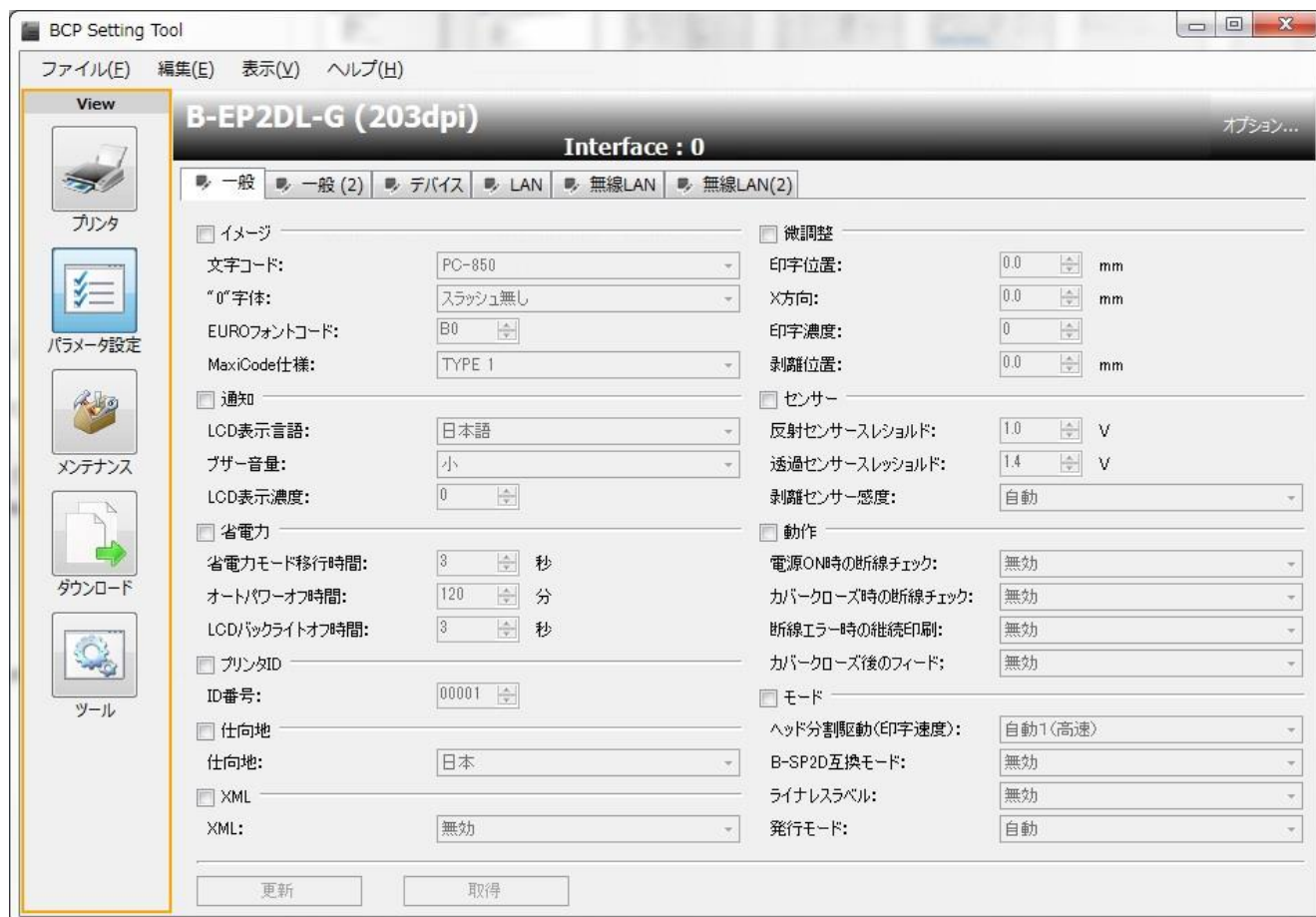
メッセージ	説明
プリンタの接続が確認できません	指定されたインターフェースで接続可能なプリンタが確認できませんでした。 通信条件を確認後、再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。
オンラインモードを確認できません	プリンタがオンラインモードになっていることを確認できないため、処理を実行できませんでした。 通信条件を確認後、再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。
プリンタがアイドル状態ではありません	プリンタでエラーが発生しているため、処理を実行できませんでした。 プリンタのエラーを解除後、再度操作をやり直してください。
プリンタでエラー（“ステータスコード”）が発生しました	処理中にプリンタでエラーが発生しました。 プリンタのエラーを解除後、再度操作をやり直してください。
ヘッドが断線しています	ヘッド断線チェックを実行した結果、プリンタのヘッドに断線が見つかりました。
ファイルの書き込みに失敗しました	プリンタ情報採取、ログ採取で採取したデータが指定されたファイルに書込めませんでした。 ファイルが書込み可能な状態かを確認してください。
取得エラー（“タブ名”/“グループ名”）	プリンタから設定情報を取得できませんでした。 『“タブ名”/“グループ名”』はエラーが発生した場所を示します。 再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。
更新エラー（“タブ名”/“グループ名”/“コントロール名”）	設定情報がプリンタで更新できませんでした。 『“タブ名”/“グループ名”/“設定項目名”』はエラーが発生した場所を示します。 設定値を確認後、再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。 尚、設定する機能がプリンタファームバージョンにより組み込まれていない場合も“更新エラー”が発生します。
非サポート（“タブ名”/“グループ名”/“コントロール名”）	ご使用のプリンタのファームウェアバージョンではサポートされていないパラメータです。
処理エラー	ファームウェアダウンロードでバージョンが更新できませんでした。 メンテナンスカウンタクリアでカウンタがクリアできませんでした。 パラメータクリアで初期化できませんでした。 再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。
プリンタの準備ができていません	実行しようとした処理に対応するモードではありません。 各処理に対応したモードは「 3.起動 プリンタ側 」を参照してください。
タイムアウトエラー	プリンタからの受信処理がタイムアウトになりました。 再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。
通信エラー	指定されたインターフェースでの通信処理に異常が発生しました。 通信条件を確認後、再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。

4 機能

パラメータ設定

プリンタの各種パラメータの設定、取得を行ないます。

「メニューアイコン」の「パラメータ設定」をクリックすると、表示されます。



コントロール

プリンタの各種パラメータの値を確認、更新するために、種類や用途により、タブとグループに区分けられて配置されます。

それぞれのコントロールは、属しているグループのチェックボックスがチェック有りの場合、アクティブ表示になります。

アクティブ表示のコントロールは、選択や入力により値の変更が可能です。

プリンタからの取得は、全てのコントロールに対して実行されます。

プリンタへの更新は、アクティブ表示のコントロールに対して実行されます。

グループ

それぞれのコントロールは、「イメージ」、「通知」、「コマンド」等の種類によってグループ化されます。グループのチェックボックスをチェック有りにすると、グループ内のコントロールがアクティブ表示になります。

プリンタからの取得は、チェックの有無に関係なく全てのコントロールに対して実行されます。

プリンタへの更新は、チェック有りにしたグループのコントロールに対して実行されます。

タブ

それぞれのグループは、[一般]、[オプション]、[デバイス]のタブに区分けられます。
タブをクリックすると、それぞれに関連するパラメータを設定する画面が表示されます。
プリンタからの取得は、全てのタブのコントロールに対して一括で実行されます。
プリンタへの更新は、各タブ内の有効になったコントロールに対して実行されます。

[更新...]

プリンタのパラメータの設定値を変更します。
設定値を変更するグループが無い場合、無効になります。
画面の設定が間違っていた場合、エラーメッセージが表示されます。
処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。
プリンタがサービスマン、システム管理者用システムモードの場合に実行されます。
全てのタブのアクティブ表示のコントロールの設定値をプリンタに送信し、プリンタから送信後の値を取得し、更新が成功したかどうかを確認します。

[取得]

プリンタからパラメータの設定値を取得し、表示を更新します。
クリックすると、処理が開始されます。
処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。
プリンタがサービスマン、システム管理者用システムモードの場合に実行されます。
取得した設定値は[パラメータ設定]画面の各コントロールに反映されます。
全てのタブの全てのコントロールに対して現在の設定値をプリンタから取得します。
但し、一部取得できないコントロールがあります。(ボンディング情報)

一般タブ

一般

一般 (2)

デバイス

LAN

無線LAN

無線LAN(2)

イメージ

文字コード:

PC-850

“0”字体:

スラッシュ無し

EUROフォントコード:

B0

MaxiCode仕様:

TYPE 1

通知

LCD表示言語:

日本語

ブザー音量:

小

LCD表示濃度:

0

省電力

省電力モード移行時間:

3

秒

オートパワーオフ時間:

120

分

LCDバックライトオフ時間:

3

秒

プリンタID

ID番号:

00001

仕向地

仕向地:

日本

XML

XML:

無効

微調整

印字位置:

0.0

mm

X方向:

0.0

mm

印字濃度:

0

剥離位置:

0.0

mm

センサー

反射センサーしきい値:

1.0

V

透過センサーしきい値:

1.4

V

剥離センサー感度:

自動

動作

電源ON時の断線チェック:

無効

カバークローズ時の断線チェック:

無効

断線エラー時の継続印刷:

無効

カバークローズ後のフィード:

無効

モード

ヘッド分割駆動(印字速度):

自動1(高速)

B-SP2D互換モード:

無効

ラインレスラベル:

無効

発行モード:

自動

更新

取得

【イメージ】グループ

【文字コード】

プリンタフォントに適用する文字コード表を設定します。

デフォルト値	PC-850
設定項目	PC-850、PC-8、PC-852、PC-857、PC-851、PC-855、PC-1250、PC-1251、PC-1252、PC-1253、PC-1254、PC-1257、LATIN9、Arabic、PC-866、UTF-8

【“0”字体】

プリンタフォントのキャラクタ“0”にスラッシュを付けるか否かを設定します。
但し、以下のフォントは設定に関係なくスラッシュ無しになります。

＜ビットマップフォント＞ OCR-A、OCR-B、ゴシック 725 ブラック、漢字

＜アウトラインフォント＞ 価格フォント1、価格フォント2、価格フォント3

デフォルト値	スラッシュ無し
設定項目	スラッシュ無し、スラッシュ有り

【EURO フォントコード】

プリンタフォントで EURO フォントに割り当てる文字を HEX 形式で設定します。

入力は 2 文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

2 文字で 1 文字の HEX を表します。（例：“0”→“30”、“A”→“41”）

デフォルト値	B0
設定範囲	20～FF

【MaxiCode 仕様】

バーコードフォントの MaxiCode を作成する種別を設定します。

デフォルト値	TYPE 1
設定項目	TYPE 1（互換仕様）、TYPE 2（特殊仕様）

【通知】グループ

[LCD 表示言語]

操作パネルに表示するメッセージの言語を設定します。

デフォルト値	日本語
設定項目	英語、ドイツ語、フランス語、オランダ語、スペイン語、日本語、イタリア語

[ブザー音量]

ブザーの音量を設定します。

デフォルト値	小
設定範囲	オフ、小、中、大

[LCD 表示濃度]

操作パネルに表示するときの濃度を設定します。

デフォルト値	0
設定範囲	-5～5

【省電力】グループ

[省電力モード移行時間]

プリンタが未使用時、省電力モードに移行するまでの時間を設定します。

デフォルト値	3 秒
設定項目	0 ～ 30 秒

[オートパワーオフ時間]

プリンタが未使用時、自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。

0 を設定すると、自動的に電源は切れません。

デフォルト値	120 分
設定項目	0 ～ 300 分

[LCD バックライトオフ時間]

プリンタが未使用時、LCD のバックライトを消灯するまでの時間を設定します。

0 を設定すると、パネル表示は消灯しません

デフォルト値	3 秒
設定項目	0 ～ 30 秒

【プリンタ ID】グループ

[ID 番号]

プリンタに各機器を識別するための ID を設定します。

IrDA:TEC Protocol の場合に使用します。

入力は 5 文字固定の半角数字で行なってください。

桁数が満たない場合、0 埋めされます。

デフォルト値	00001
設定範囲	00000 ～ 65535

【仕向地】グループ

[仕向地]

仕向地を設定します。

デフォルト値	日本
設定項目	日本、海外

【XML】グループ

[XML]

XML を有効にするか否かを設定します。

有効にする場合、印刷コマンドモードは TPCL を設定してください。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

【微調整】グループ

〔印字位置〕

停止位置に対する微調整を 0.1mm 単位で設定します。

マイナス値の場合、ゼロ位置に対して手前で停止します。

取得をしない場合、印字位置微調コマンド〔AX〕で設定した PC の値は 0 になります。

デフォルト値	0.0 mm
設定範囲	-50.0～+50.0 mm

〔X 方向〕

用紙送りと垂直方向の印字位置に対する微調整を 0.1mm 単位で設定します。

マイナス値の場合、左上の基点座標がゼロ位置に対して左方向に移動します。

デフォルト値	0.0 mm
設定範囲	-99.9～+99.9 mm

〔印字濃度〕

感熱発行時の印字濃度に対する微調整を設定します。

取得をしない場合、印字濃度微調コマンド〔AY〕で設定した PC の値は 0 になります。

デフォルト値	0
設定範囲	-30～+30

〔剥離位置〕

剥離位置に対する微調整を 0.1mm 単位で設定します。

マイナス値の場合、ゼロ位置に対して手前で剥離します。

取得をしない場合、印字位置微調コマンド〔AX〕で設定した PC の値は 0 になります。

デフォルト値	0
設定範囲	-2.0～+3.0 mm

【センサー】グループ

〔反射センサースレッシュールド〕

反射センサーの出力に対するしきい値の微調整を 0.1V 単位で設定します。

デフォルト値	1.0 V
設定範囲	0.0～4.0 V

〔透過センサースレッシュールド〕

透過センサーの出力に対するしきい値の微調整を 0.1V 単位で設定します。

デフォルト値	1.4 V
設定範囲	0.0～4.0 V

〔剥離センサー感度〕

剥離センサーの感度を設定します。

デフォルト値	自動
設定項目	自動、低、高

【動作】グループ

〔電源 ON 時の断線チェック〕

電源投入時に断線チェックを実行するか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

〔カバークローズ時の断線チェック〕

カバークローズ時に断線チェックを実行するか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[継続エラー時の継続印刷]

断線エラー後に印刷を継続するか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[カバークローズ後のフィード]

カバークローズ後に頭出しフィードを実行するか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

【モード】グループ

[ヘッド分割駆動]

ヘッド出力の分割方法を設定します。

デフォルト値	自動 1 (高速)
設定項目	B-EP2DL-G (203dpi) : 自動 1 (高速)、自動、3 分割固定 (低速)、自動 2 B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi) : 自動 1 (高速)、自動、6 分割固定 (低速)

[B-SP 互換モード]

B-SP2D と同じ印字結果にするための互換モードを有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[ライナレスラベル]

台紙なしのラベルを使用するか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[発行モード]

プリンタの発行方法を設定します。

“自動” に設定した場合、剥離センサーの状態によって動作が決まります。

デフォルト値	自動
設定項目	自動、連続、剥離

一般 (2)タブ

一般	一般 (2)	デバイス	LAN	無線LAN	無線LAN(2)
<div> <div> <input type="checkbox"/> コマンド 制御コード: 自動 印刷コマンドモード: TPCL </div> <div> <input type="checkbox"/> BASIC インタプリタ: 無効 トレース: 無効 </div> <div> <input type="checkbox"/> パスワード システムモードパスワード: 無効 新パスワード: 0000 旧パスワード: 0000 </div> <div> <input type="checkbox"/> モジュール オプションモジュール: 無効 </div> <div> <input type="checkbox"/> SHELL SHELL機能: 無効 </div> <div> <input type="checkbox"/> 製品 プリントシリアル番号: </div> </div> <div> <div> <input type="checkbox"/> 電源 エラー発生後の電源OFF: 5分 </div> <div> <input type="checkbox"/> バッテリー バッテリー充電モード: 通常 </div> <div> <input type="checkbox"/> ヘッド ヘッド分割駆動コマンド設定: 有効 </div> <div> <input type="checkbox"/> 印字動作詳細制御 印字後停止位置: カット位置 バックフィード制限: 制限する 剥離発行時バックフィード: バックフィードしない </div> <div> <input type="checkbox"/> セッティング バックラッシュステップ1: 30 バックラッシュステップ2: 30 </div> </div>					
<div> <div>更新</div> <div>取得</div> </div>					

【コマンド】グループ

〔制御コード〕

コマンドの解析に使用する制御コードを設定します。

デフォルト値	自動
設定項目	自動、[ESC] [LF] [NUL]、{ }

〔印刷コマンドモード〕

印刷コマンドモードを設定します。

デフォルト値	TPCL
設定項目	LABEL、RECEIPT、RECEIPT1、ESC/POS、TPCL、TPCL1

【BASIC】グループ

〔インタプリタ〕

ベーシックインタプリタを使用可能にするか否かを設定します。

有効にする場合、印刷コマンドモードは TPCL を設定してください。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

〔トレース〕

ベーシックトレースを使用可能にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

【パスワード】グループ

〔システムモードパスワード〕

システムモードに入るときのパスワードを有効にするか否かを選択します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

〔新パスワード〕

システムモードに入るときのパスワードを設定します。

設定する場合には旧パスワードが必要です。

旧パスワードの指定が間違っている場合、変更できません。

システムモードパスワードが有効の場合のみ、有効になります。

入力は4文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

セキュリティ情報であるため、入力時以外は隠し文字で表示されます。

デフォルト値	0000
設定範囲	0000～FFFF

〔旧パスワード〕

システムモードに入るときのパスワードを解除するために設定します。

現在プリンタに設定されたパスワードを設定します。

入力は4文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

セキュリティ情報であるため、入力時以外は隠し文字で表示されます。

新パスワードを有効にする場合、“0000”を設定してください。

デフォルト値	0000
設定範囲	0000～FFFF

【モジュール】グループ

〔オプションモジュール〕

RS-232C モデルに Bluetooth または無線 LAN のオプションモジュールを取り付けたか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

【SHELL】グループ

〔SHELL 機能〕

この設定は変更できません。

【製品】グループ

〔プリンタシリアル番号〕

この設定は変更できません。

【電源】グループ

〔エラー発生後の電源 OFF〕

プリンタにエラーが発生した後にプリンタの電源を OFF するかどうかを設定します。

“5 分”に設定した場合、エラーが発生した5分後に電源が OFF されます。

デフォルト値	5 分
設定項目	無効、5 分

【バッテリー】グループ

〔バッテリー充電モード〕

バッテリーの充電モードを設定します。

デフォルト値	通常
設定項目	通常、低、低 2

【ヘッド】グループ

[ヘッド分割駆動コマンド設定]

AY コマンドのヘッド分割のパラメータを有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

【印字動作詳細制御】グループ

[印字後停止位置]

印字完了後のラベルの停止位置を設定します。

デフォルト値	カット位置
設定項目	カット位置、ヘッド位置

[バックフィード制限]

バックフィードを制限するか否かを設定します。

デフォルト値	制限する
設定項目	制限する（バックフィードしない）、制限しない（バックフィードする）

[剥離発行時バックフィード]

剥離発行の位置微調設定時にバックフィードをするか否かを設定します。

デフォルト値	バックフィードしない
設定項目	バックフィードしない、バックフィードする

[剥離発行時用紙幅]

B-EP2DL-G (203dpi)モデルの剥離発行時に使用する用紙幅を設定します。

デフォルト値	30mm 以上
設定項目	30mm 以上、30mm 未満

【セッティング】グループ

[バックラッシュステップ 1]

この設定は変更できません。

[バックラッシュステップ 2]

この設定は変更できません。

デバイスタブ

一般

一般 (2)

デバイス

LAN

無線LAN

無線LAN(2)

Bluetooth

Bluetooth I/F: 有効

デバイスニックネーム: TOSHIBA TEC BT

インクワイリー応答: 有効

セキュリティ: なし

インクワイリー/接続インターバル: 2048

インクワイリー/接続ウィンドウ: 36

SSP

SSP認証種別: 確認無し

ボンディング

登録方法: 上書き

No.	BDアドレス	PINコード
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

更新

取得

USB

USBシリアル番号: 無効

8S01FA590001

IrDA

IrDA I/F(プロトコル): IrCOMM/IrOBEX

最大ボーレート: 115200 bps

IrCOMMステータス応答: 無効

RS-232C

RS-232C I/F: 有効

ボーレート: 9600 bps

パリティ: 偶数

【Bluetooth】グループ [B-EP2DL-G (203dpi)、B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi)]
Bluetooth モデルのプリンタ以外では設定できません。

[Bluetooth I/F]

Bluetooth 通信を使用可能にするか否かを設定します。

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

[デバイスニックネーム]

Bluetooth デバイスにニックネームを設定します。

他のデバイスから検出した場合に使用される名称です。

入力は最大 32 文字の半角英数字、スペースで行ってください。

デフォルト値	TOSHIBA TEC BT
--------	----------------

[インクワイリー応答]

ホストからの探索に対して応答するか否かを設定します。

有効（60 秒）に設定した場合、プリンタ起動後の 60 秒間のみ探索に応答します。

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効（60 秒）、有効

[セキュリティ]

通信のセキュリティを設定します。

デフォルト値	なし
設定項目	なし、リンクレベル

[インクワイリー／接続インターバル]

ホストからの探索および接続に対する応答時間のインターバルを設定します。

接続に時間がかかることが多い環境下で、値を小さくすると接続性が向上する場合があります。但し、小さい値を設定するとプリンタの消費電力が増します。

(1 ユニットあたり 0.625msec)

インクワイリー／接続インターバル ≥ インクワイリー／接続ウインドウ

デフォルト値	2048
設定項目	18 ~ 4096

[インクワイリー／接続ウインドウ]

ホストからの探索および接続に対する応答時間のウインドウを設定します。

接続に時間がかかることが多い環境下で、値を小さくすると接続性が向上する場合があります。但し、小さい値を設定するとプリンタの消費電力が増します。

(1 ユニットあたり 0.625msec)

デフォルト値	36
設定項目	18 ~ 4096

【SSP】グループ [B-EP2DL-G (203dpi)、B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi)]

Bluetooth モデルのプリンタ以外では設定できません。

[SSP 認証種別]

SSP 認証種別を設定します。

デフォルト値	確認なし
設定項目	確認なし、 認証キー確認：表示なし、 認証キー確認：表示あり、 認証キー確認：確認あり

【ボンディング】グループ [B-EP2DL-G (203dpi)、B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi)]

Bluetooth モデルのプリンタ以外では設定できません。

[登録方法]

ボンディングリストのプリンタへの登録方法を選択します。

“上書き”は、プリンタのボンディングテーブルをボンディングリストの情報に置き換えます。ボンディングリストに1つも登録しない場合、プリンタのボンディングテーブルを初期化できます。“追加”は、プリンタの現在のボンディングテーブルにボンディングリストの情報を追加します。プリンタに設定されたボンディング情報が10件を超えた場合、一番古い情報から上書きされます。但し、同じ BD アドレスが既に存在していた場合、そのボンディング情報が上書きされます。
“*****”を設定した場合、“*****”以外のボンディング情報はすべて削除されます。

デフォルト値	上書き
設定項目	追加、上書き

[ボンディングリスト]

プリンタのボンディングテーブルに登録するデバイスの BD アドレスと PIN コードを一覧表示します。指定した登録方法でリストのボンディング情報をプリンタに登録します。

最大 10 件の登録ができます。

PIN コードはセキュリティ情報であるため、入力時以外はアスタリスクで表示されます。

※本項目は、プリンタに設定されている値を取得できません。

そのため取得しても表示は変わりません。

[BD アドレス]

ボンディングリストに追加するデバイスの BD アドレスを入力します。

入力は 12 文字固定の“0”から“F”の半角文字で行ってください。

“*****”を入力した場合、接続相手を指定しない設定ができます。

[PIN コード]

BD アドレスのデバイスに設定されている PIN コードを入力します。
入力は 1 文字から 16 文字までの半角英数字でおこなってください。

【USB】グループ

[USB シリアル番号]

USB のシリアル番号を有効にするか否かを設定します。
無効にした場合、USB ポートに対して接続が確立されます。
USB ポートを変えるたびにプリンタドライバのインストールが発生します。
有効にした場合、表示されたシリアル番号に対して接続が確立されます。
シリアル番号ごとにプリンタドライバのインストールが発生します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

シリアル番号にはプリンタ固有の番号が表示されます。
この設定は変更できません。

【IrDA】グループ

[IrDA I/F (プロトコル)]

IrDA 通信を使用可能にするか否かを設定します。
使用する場合、プロトコルを選択します。

デフォルト値	IrCOMM/IrOBEX
設定項目	無効、TEC Protocol 、IrCOMM/IrOBEX

[(最大) ボーレート]

TEC Protocol 通信でのボーレート、及び、IrCOMM/IrOBEX 通信での最大ボーレートを設定します。
IrCOMM/IrOBEX 通信のボーレートは通信するデバイスによって通信可能な値に調整されます。

デフォルト値	115200 bps
設定項目	9600 bps、19200 bps、38400 bps、57600 bps、115200 bps

[IrCOMM ステータス応答]

IrCOMM 通信でのステータス自動応答を送信するか否か設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

【RS-232C(R)】グループ

[RS-232C I/F]

RS-232C 通信を使用可能にするか否かを設定します。
使用する場合、通信のボーレートとパリティを設定してください。
データ長は 8 固定、ストップビットは 1 固定、フロー制御は XON/XOFF 固定です。

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

[ボーレート]

通信のボーレートを設定します。

デフォルト値	9600 bps
設定項目	9600 bps、19200 bps、38400 bps、57600 bps、115200 bps

[パリティ]

通信のパリティを設定します。

デフォルト値	偶数
設定項目	偶数、なし

LANタブ

一般

一般 (2)

デバイス

LAN

無線LAN

無線LAN(2)

TCP/IP

無線LAN I/F:

有効

IPアドレス:

192 . 168 . 254 . 254

サブネットマスク:

255 . 255 . 0 . 0

デフォルトゲートウェイ:

0 . 0 . 0 . 0

プロトコル

LPR:

無効

ソケット:

有効

ポート番号:

8000

サーバー

DHCP:

無効

入力形式:

HEX

DHCPクライアントID:

WINS:

無効

DHCPホスト名:

WINSサーバーアドレス:

0 . 0 . 0 . 0

更新

取得

【TCP/IP】グループ

[LAN I/F]

有線 LAN または無線 LAN での通信を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	有効（自動）
設定項目	無効、有効（自動）、有効（有線 LAN）、有効（無線 LAN）

[IP アドレス]

IP アドレスを設定します。

デフォルト値	192.168.254.254
設定範囲	0.0.0.0～255.255.255.255

[サブネットマスク]

サブネットマスクを設定します。

デフォルト値	255.255.0.0
設定範囲	0.0.0.0～255.255.255.255

[デフォルトゲートウェイ]

デフォルトゲートウェイのアドレスを設定します。

デフォルト値	0.0.0.0
設定範囲	0.0.0.0～255.255.255.255

【プロトコル】グループ

[LPR]

LPR プロトコルでの通信を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[ソケット]

ソケット通信を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

[ポート番号]

ソケット通信で使用するポート番号を設定します。

デフォルト値	B-EP2DL-G (203dpi)、B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi) : 8000 B-EP4DL-G/T42 (203dpi/300dpi) : 9100
設定範囲	0～65535

[Keep Alive] [B-EP4DL-G/T42 (203dpi/300dpi)]

Keep Alive 機能を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

【サーバー】グループ

[DHCP]

DHCP クライアントを有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[DHCP ホスト名]

ホスト名を設定します。

未入力にした場合、プリンタの MAC アドレスを使用します。

B-EP2DL-G (203dpi)、B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi) :

入力は最大 32 文字までの半角英数字で行なってください。

B-EP4DL-G/T42 (203dpi/300dpi) :

入力は最大 16 文字までの半角英数字で行なってください。

[入力形式] [B-EP2DL-G (203dpi)、B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi)]

DHCP クライアント ID を入力するときのコードを設定します。

変更した場合、DHCP クライアント ID はクリアされます。

デフォルト値	HEX
設定項目	HEX、ASCII

[DHCP クライアント ID] [B-EP2DL-G (203dpi)、B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi)]

DHCP クライアント ID を設定します。

入力形式が HEX の場合、入力は最大 64 文字までの“0”から“F”の半角文字で行なってください。

入力は 2 文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

2 文字で 1 文字の HEX を表します。(例：“0”→“30”、“A”→“41”)

文字数が奇数の場合、エラーになります。

入力形式が ASCII の場合、入力は最大 32 文字までの半角英数字で行なってください。

[DHCP ユーザークラス ID] [B-EP4DL-G/T42 (203dpi/300dpi)]

DHCP ユーザークラス ID を設定します。

入力は最大 32 文字までの半角英数記号で行なってください。

[WINS] [B-EP2DL-G (203dpi)、B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi)]

WINS プロトコルを有効にするか否かを設定します。

“有効（手動）”に設定した場合、“WINS サーバーアドレス”を使用します。

“有効（DHCP）”に設定した場合、DHCP の設定を使用します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効（手動）、有効（DHCP）

[WINS サーバーアドレス] [B-EP2DL-G (203dpi)、B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi)]

WINS サーバーの IP アドレスを設定します。

デフォルト値	0.0.0.0
設定範囲	0.0.0.0～255.255.255.255

無線LANタブ [B-EP2DL-G (203dpi)、B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi)]

無線LAN基本 無線LAN拡張 無線LAN詳細 無線LAN(2)

☐ 無線LAN基本

通信規格: 802.11b/g

☐ 無線LAN拡張

パワーセーブ: パワーセーブする

☐ 無線LAN詳細

ESS ID: TOSHIBATEC

ビーコン送信間隔: 1000 ミリ秒

ローミング閾値: 70

カントリーコード:

☐ 802.11b

チャンネル: 1

送信レート: 11 Mbps

☐ 802.11g

チャンネル: 1

送信レート: 54 Mbps

☐ RSSI

RSSI値のLCD表示: 無効

☐ 優先AP

プロパティ: ANY SSID OFF

MACアドレス1:

MACアドレス2:

MACアドレス3:

MACアドレス4:

MACアドレス5:

☐ 認証

(1)接続モード: Infrastructure

(2)暗号化: 無効

(3)ネットワーク認証: Open System

(4)EAP種別: 無効

☐ WEP

デフォルトキー: 1 入力形式: HEX

WEPキー#1: 無効

WEPキー#2: 無効

WEPキー#3: 無効

WEPキー#4: 無効

更新 取得

【無線 LAN 基本】グループ

[通信規格]

無線 LAN の規格を設定します。

デフォルト値	802.11b/g
設定項目	802.11b、802.11g、802.11b/g

【無線 LAN 拡張】グループ

[パワーセーブ機能]

パワーセーブするか否かを設定します。

デフォルト値	パワーセーブする
設定項目	パワーセーブする、パワーセーブしない

【無線 LAN 詳細】グループ

[ESS ID]

ESS ID を設定します。

入力は最大 32 文字までの半角英数字で行なってください。

デフォルト値	TOSHIBATEC
--------	------------

[ビーコン送信間隔]

ビーコンへの送信間隔を設定します。

デフォルト値	1000 ミリ秒
設定範囲	1~65535 ミリ秒

[ローミング閾値]

ローミングの感度のしきい値を設定します。

デフォルト値	70
設定範囲	0~99

[カントリーコード]

設定されたカントリーコードが表示されます。
この設定は変更できません。

【802.11b】グループ

[チャンネル]

IEEE802.11b のチャンネルを設定します。
但し、カントリーコードの設定により使用できないチャンネルはプリンタで補正されます。

デフォルト値	1
設定範囲	1～14

[送信レート]

IEEE802.11b の最大の送信レートを設定します。
送信レートは通信するデバイスによって通信可能な値に調整されます。

デフォルト値	11 Mbps
設定項目	11 Mbps、5.5 Mbps、2 Mbps、1 Mbps

【802.11g】グループ

[チャンネル]

IEEE802.11g のチャンネルを設定します。
但し、カントリーコードの設定により使用できないチャンネルはプリンタで補正されます。

デフォルト値	1
設定範囲	1～13

[送信レート]

IEEE802.11g の最大の送信レートを設定します。
送信レートは通信するデバイスによって通信可能な値に調整されます。

デフォルト値	54 Mbps
設定項目	54 Mbps、48 Mbps、36 Mbps、24 Mbps、18 Mbps、12 Mbps、9 Mbps、6 Mbps、11 Mbps、5.5 Mbps、2 Mbps、1 Mbps

【RSSI】グループ

[RSSI 値の LCD 表示]

RSSI（受信信号強度）の値を LCD に表示するか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定範囲	無効、有効

【優先 AP】グループ

[プロパティ]

ANY SSID／優先 AP を設定します。

デフォルト値	ANY SSID OFF
設定項目	ANY SSID OFF、ANY SSID ON / Priority AP OFF、 ANY SSID ON / Priority AP ON / Other AP OFF、(プリンタ非対応) ANY SSID ON / Priority AP ON / Other AP ON (プリンタ非対応)

[MAC アドレス 1] [MAC アドレス 2] [MAC アドレス 3] [MAC アドレス 4] [MAC アドレス 5]

優先して接続したいアクセスポイントの MAC アドレスを設定します。
数字は優先順位になります。
優先順位が高い MAC アドレスから接続を行なっていきます。
入力は 12 文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。
大文字と小文字の区別はありません。
未入力にした場合、現在の設定を無効にできます。

【認証】グループ

[(1) 接続モード]

接続モードを設定します。

デフォルト値	Infrastructure
設定項目	Adhoc、Infrastructure

[(2) 暗号化]

暗号化方式を選択します。

“(1) 接続モード”の設定によって使用可能な項目のみ表示します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、WEP40、WEP104、TKIP、AES

[(3) ネットワーク認証]

ネットワーク認証方式を選択します。

“(1) 接続モード”と“(2) 暗号化”の設定によって使用可能な項目のみ表示します。

デフォルト値	Open System
設定項目	Open System、Shared Key、WPA-EAP、WPA-PSK、WPA2-EAP、WPA2-PSK

[(4) EAP 種別]

EAP の種類を選択します。

“(1) 接続モード”と“(2) 暗号化”と“(3) ネットワーク認証”の設定によって使用可能な項目のみ表示します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、EAP-MD5、EAP-TLS、EAP-TTLS、LEAP、LEAP (NetworkEAP)、PEAP、PEAP (w/o Cert.)、EAP-FAST

<認証方式設定表>

(1) 接続モード	(2) 暗号化	(3) ネットワーク認証	(4) EAP 種別
Adhoc	無効	Open System	無効
	WEP40	Open System	無効
	WEP104	Open System	無効
Infrastructure	無効	Open System	無効
		Open System	無効
	WEP40	Open System	無効
			EAP-MD5
			EAP-TLS
			EAP-TTLS
			LEAP
			LEAP (NetworkEAP)
			PEAP
			PEAP (w/o Cert.)
			EAP-FAST
		Shared Key	無効
			EAP-MD5
	WEP104	Open System	無効
			EAP-MD5
			EAP-TLS
			EAP-TTLS
			LEAP
			LEAP (NetworkEAP)
			PEAP
			PEAP (w/o Cert.)
			EAP-FAST
		Shared Key	無効
			EAP-MD5
	TKIP	WPA-EAP	EAP-TLS
			EAP-TTLS
			LEAP
			LEAP (NetworkEAP)
			PEAP
			PEAP (w/o Cert.)
			EAP-FAST
		WPA-PSK	無効

	AES	WPA2-EAP	EAP-TLS
			EAP-TTLS
			LEAP
			LEAP (NetworkEAP)
			PEAP
			PEAP (w/o Cert.)
			EAP-FAST
		WPA2-PSK	無効

【WEP】グループ

[デフォルトキー]

デフォルトで使用する WEP キーの番号を設定します。

デフォルト値	1
設定範囲	1～4

[入力形式]

WEP キーを入力するときのコードを設定します。

変更した場合、WEP キーはクリアされます。

デフォルト値	HEX
設定項目	HEX、ASCII

[WEP キー #1] [WEP キー #2] [WEP キー #3] [WEP キー #4]

認証方式の暗号化で使用する WEP キーを設定します。

WEP キーサイズを選択し、WEP キーを入力します。

WEP キーサイズを変更した場合、WEP キーはクリアされます。

<40 bits>

入力形式が HEX の場合、入力は 10 文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

入力形式が ASCII の場合、入力は 5 文字固定の半角英数字で行なってください。

<104 bits>

入力形式が HEX の場合、入力は 26 文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

入力形式が ASCII の場合、入力は 13 文字固定の半角英数字で行なってください。

セキュリティ情報であるため、入力時以外は隠し文字で表示されます。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、40 bits (64 bits)、104 bits (128 bits)

無線LANタブ [B-EP4DL-G/T42 (203 dpi/300dpi)]

【無線 LAN 詳細】グループ

[ESS ID]

ESS ID を設定します。

入力は最大 32 文字までの半角英数字で行なってください。

デフォルト値	TOSHIBATEC
--------	------------

[ビーコン送信間隔]

ビーコンへの送信間隔を設定します。

デフォルト値	0.1 秒
設定範囲	0.1～1.0 秒

[ローミング閾値（下限）]

ローミングの感度のしきい値（下限）を設定します。

デフォルト値	70
設定範囲	0～99

[ローミング閾値（上限）]

ローミングの感度のしきい値（上限）を設定します。

デフォルト値	50
設定範囲	0～99

[カントリーコード]

設定されたカントリーコードが表示されます。

この設定は変更できません。

【802.11a/b/g/n】グループ

[AP モード チャンネル]

IEEE802.11a/b/g/n のチャンネルを設定します。

但し、法令指定の設定により使用できないチャンネルはプリンタで補正されます。

デフォルト値	1 ch
設定項目	1 ch, 2 ch, 3 ch, 4 ch, 5 ch, 6 ch, 7 ch, 8 ch, 9 ch, 10 ch, 11 ch, 12 ch, 13 ch, 14 ch, 36 ch, 40 ch, 44 ch, 48 ch, 149 ch, 153 ch, 157 ch, 161 ch, 165 ch

[周波数帯設定]

Infrastructure で使用する周波数帯を設定します。

デフォルト値	Dual band
設定項目	2.4GHz, 5GHz, Dual band

[Infrastructure チャンネルマスク 2.4GHz]

2.4GHz 帯のチャンネル毎にスキャン/接続をマスクすることができます。

チェックが無効の場合スキャン/接続対象外となります。

デフォルト値	全チェック有効
設定範囲	1 ch, 2 ch, 3 ch, 4 ch, 5 ch, 6 ch, 7 ch, 8 ch, 9 ch, 10 ch, 11 ch, 12 ch, 13 ch, 14 ch

[Infrastructure チャンネルマスク 5GHz]

5GHz 帯のチャンネル毎にスキャン/接続をマスクすることができます。

チェックが無効の場合スキャン/接続対象外となります。

デフォルト値	全チェック有効
設定範囲	36 ch, 40 ch, 44 ch, 48 ch, 52 ch, 56 ch, 60 ch, 64 ch, 100 ch, 104 ch, 108 ch, 112 ch, 116 ch, 120 ch, 124 ch, 128 ch, 132 ch, 136 ch, 140 ch, 149 ch, 153 ch, 157 ch, 161 ch, 165 ch

【無線 LAN 拡張】グループ

[無線 LAN パワーセーブ]

パワーセーブするか否かを設定します。

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

【WEP】グループ

[キーインデックス]

使用する WEP キーのインデックスを設定します。

デフォルト値	1
設定範囲	1～4

[入力形式]

WEP キーを入力するときのコードを設定します。

変更した場合、WEP キーはクリアされます。

デフォルト値	HEX
設定項目	HEX、ASCII

[WEP キー]

認証方式の暗号化で使用する WEP キーを設定します。

WEP キーサイズを選択し、WEP キーを入力します。

WEP キーサイズを変更した場合、WEP キーはクリアされます。

<40 bits>

入力形式が HEX の場合、入力は 10 文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

入力形式が ASCII の場合、入力は 5 文字固定の半角英数字で行なってください。

セキュリティ情報であるため、入力時以外は隠し文字で表示されます。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、40 bits (64 bits)、

【認証】グループ

[(1) 接続モード]

接続モードを設定します。

デフォルト値	Infrastructure
設定項目	AP Mode、Infrastructure

[(2) 暗号化]

暗号化方式を選択します。

“(1) 接続モード”の設定によって使用可能な項目のみ表示します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、WEP40

[(3) ネットワーク認証]

ネットワーク認証方式を選択します。

“(1) 接続モード”と“(2) 暗号化”の設定によって使用可能な項目のみ表示します。

デフォルト値	Open System
設定項目	Open System 、 WPA-Personal 、 WPA2-Personal 、 WPA-Enterprise 、 WPA2-Enterprise

[(4) EAP 種別]

EAP の種類を選択します。

“(1) 接続モード”と“(2) 暗号化”と“(3) ネットワーク認証”の設定によって使用可能な項目のみ表示します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、EAP-TLS、EAP-TTLS、EAP-FAST MSCHAPV2、PEAP MSCHAPV2、PEAP MSCHAPV2(w/o Cert)

< 認証方式設定表 >

(1) 接続モード	(2) 暗号化	(3) ネットワーク認証	(4) EAP 種別
AP MODE	無効	Open System	無効
		WPA-Personal	無効
		WPA2-Personal	無効
Infrastructure	無効	Open System	無効
	WEP40	Open System	無効
	無効	WPA-Personal	無効
	無効	WPA2-Personal	無効
	無効	WPA-Enterprise	EAP-TLS
	無効	WPA2-Enterprise	EAP-TTLS
			EAP-FAST MSCHAPV2
			PEAP MSCHAPV2
			PEAP MSCHAPV2 (w/o Cert.)
			EAP-TLS
			EAP-TTLS
			EAP-FAST MSCHAPV2
			PEAP MSCHAPV2
			PEAP MSCHAPV2 (w/o Cert.)

無線LAN (2)タブ

一般

一般 (2)

デバイス

LAN

無線LAN

無線LAN(2)

☐ WPA-PSK

事前共有キー:

☐ アカウント

認証ユーザー名:

認証パスワード:

☐ 802.1X

再認証間隔:

2

分

☐ サプリカント

サーバー証明書:

クライアント証明書:

キーファイル:

秘密キー:

ランダムSEED:

☐ EAP-FAST

Provisioning方式:

Auto Provisioning

内部認証:

MSCHAPV2

PACファイル:

変更無し

PACファイルパス:

PACファイルパスワード:

更新

取得

【WPA-PSK】グループ

〔事前共有キー〕

ネットワーク認証の WPA の暗号化で使用するキーを設定します。
入力は 8 文字から 64 文字までの半角英数字で行なってください。
セキュリティ情報であるため、入力時以外は隠し文字で表示されます。

デフォルト値	00000000
--------	----------

【アカウント】グループ

〔認証ユーザー名〕

サプリカントの認証を行なうためのユーザ名を設定します。
入力は最大 32 文字までの半角英数字で行なって下さい。

〔認証パスワード〕

サプリカントの認証を行なうためのパスワードを設定します。
入力は最大 32 文字までの半角英数字で行なって下さい。
セキュリティ情報であるため、入力時以外は隠し文字で表示されます。

【802.1X】グループ [B-EP2DL-G (203dpi)、B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi)]

〔再認証間隔〕

再認証を実行する間隔を設定します。

デフォルト値	2 分
設定範囲	2～4320 分

【サブリカント】グループ

[サーバー証明書]

送信するサーバー証明書ファイルを絶対パスで設定します。



ボタンからファイルの選択画面での設定が行なえます。

未設定の場合、データの送信を実行しません。

データがない空白ファイルを設定した場合、現在の設定を無効にできます。

存在しないファイルを設定した場合、エラーになります。

[クライアント証明書]

送信するクライアント証明書ファイルを絶対パスで設定します。



ボタンからファイルの選択画面での設定が行なえます。

未設定の場合、データの送信を実行しません。

データがない空白ファイルを設定した場合、現在の設定を無効にできます。

存在しないファイルを設定した場合、エラーになります。

[キーファイル]

送信するクライアント証明書のキーファイルを絶対パスで設定します。



ボタンからファイルの選択画面での設定が行なえます。

未設定の場合、データの送信を実行しません。

データがない空白ファイルを設定した場合、現在の設定を無効にできます。

存在しないファイルを設定した場合、エラーになります。

[秘密キー]

秘密キーのパスフレーズを設定します。

入力は最大 64 文字までの半角英数字で行なってください。

セキュリティ情報であるため、入力時以外は隠し文字で表示されます。

[ランダム SEED] [B-EP2DL-G (203dpi)、B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi)]

送信するランダム値生成用 SEED ファイルを絶対パスで設定します。



ボタンからファイルの選択画面での設定が行なえます。

未設定の場合、データの送信を実行しません。

データがない空白ファイルを設定した場合、現在の設定を無効にできます。

存在しないファイルを設定した場合、エラーになります。

【EAP-FAST】グループ [B-EP2DL-G (203dpi)、B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi)]

[Provisioning 方式]

Provisioning 方式を設定します。

デフォルト値	Auto Provisioning
設定項目	Auto Provisioning、Manual Provisioning

[内部認証]

内部認証を設定します。

デフォルト値	MSCHAPV2
設定項目	MSCHAPV2、GTC

[PAC ファイル]

PAC ファイルの送信と削除を行ないます。

デフォルト値	変更無し
設定項目	変更無し、Manual Provisioning 用 PAC ファイルの送信、Manual Provisioning 用 PAC ファイルの削除、Auto Provisioning 用 PAC ファイルの削除、Manual Provisioning 用 PAC ファイルと Auto Provisioning 用 PAC ファイルの削除

[PAC ファイルパス]

Manual Provisioning 方式で使用する PAC ファイルを絶対パスで設定します。

“Manual Provisioning 用 PAC ファイルの送信”を選択した場合のみ有効になります。



ボタンからファイルの選択画面での設定が行なえます。

未設定の場合、データの送信を実行しません。

存在しないファイルを設定した場合、エラーになります。

[PAC ファイルパスワード]

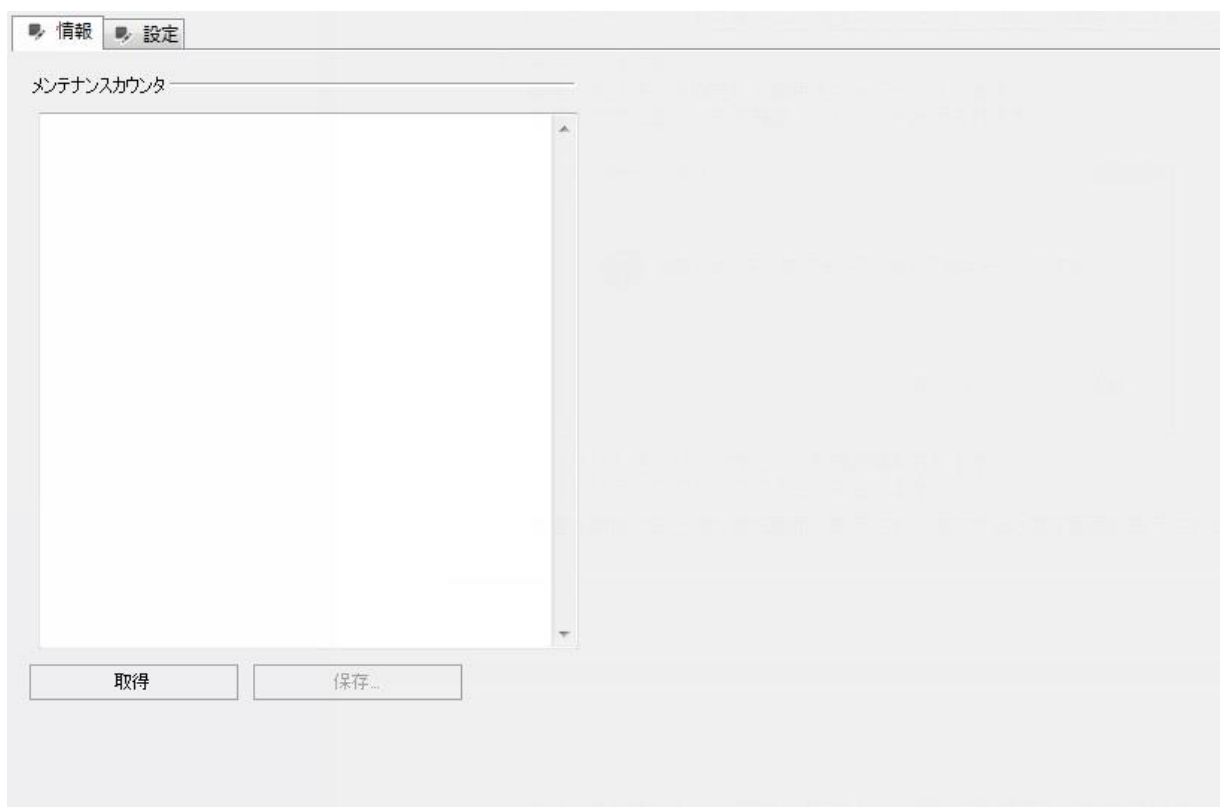
Manual Provisioning 方式で使用する PAC ファイルのパスワードを設定します。

入力は最大 32 文字までの半角英数字で行なって下さい。

メンテナンス

プリンタの自己診断やメモリ管理等でメンテナンスを行ないます。
「メニューアイコン」の[メンテナンス]アイコンをクリックすると、表示されます。

情報タブ



[メンテナンスカウンタ]

プリンタのメンテナンスカウンタの情報が表示されます。
取得を実行すると表示が最新の情報に更新されます。

[取得]

プリンタから現在のプリンタ情報を取得し、メンテナンスカウンタの表示を更新します。
クリックすると、処理が開始されます。
処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。
プリンタがサービスマン、システム管理者用システムモードで状態がアイドルの場合に実行されます。

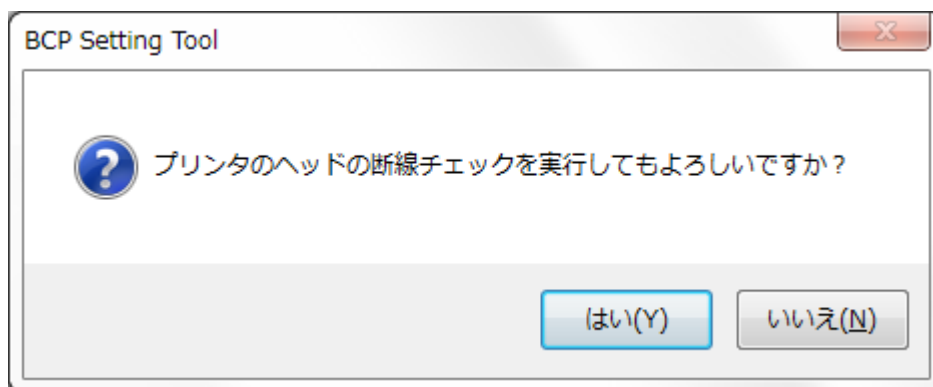
[保存]

取得したダイアグ情報とメンテナンスカウンタの内容をひとつのファイルに保存します。
クリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。任意のファイルを指定して[保存]をクリックすると、ファイルに保存されます。
プリンタから情報取得に成功するとボタンが有効になります。

設定タブ

[ヘッド断線チェック...]

プリンタのヘッドの断線チェックを実行します。
クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。

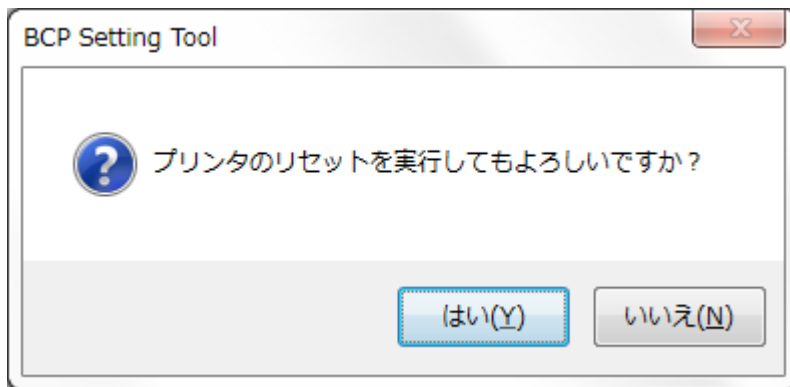


[はい] をクリックすると、処理が開始されます。
[いいえ] をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。
プリンタが TPCL モードまたは TPCL1 モードで状態がアイドルの場合に実行されます。
断線チェック完了後、ヘッドが断線しているプリンタはエラーになります。[プリンタリセット] でアイドル状態に戻せます。

[プリンタリセット...]

プリンタのリセットを実行します。
クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、処理が開始されます。

「いいえ」をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタの状態に関係なく実行されます。

プリンタの状態によってリセットが効かないことがあります。

[ログ採取...]

プリンタからログ情報を取得し、ファイルに保存します。

クリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。任意のファイルを指定して「保存」をクリックすると、処理が開始されます。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタがシステムモードで状態がアイドルの場合に実行されます。

ログは弊社がプリンタ異常の原因を調査するためのものです。

[メモリアロケート]

内蔵メモリを各領域に指定したサイズで割当てされます。

[2バイト文字]

プリンタに搭載されたフォントを選択します。

デフォルト値	日本語（漢字）
設定項目	未実装、日本語（漢字）、中国語、韓国語（ハングル）

指定したフォントによって割当て可能なメモリ容量が異なります。

2バイト文字	総容量
未実装	3,200 KB
日本語（漢字）	1,344 KB
中国語	1,024 KB
韓国語（ハングル）	2,112 KB

[ビットマップ外字登録領域]

ビットマップ外字を保存する領域のサイズを選択します。

デフォルト値	448 KB
設定項目	0～3200 KB（64 KB 単位）

[BASIC 領域を保持する]

BASIC ファイル登録領域を保持するかをチェック有／無により設定します。

チェック有りの場合：BASIC ファイルの登録領域はアロケートされずに既存のデータが保持されます（デフォルト）。

チェック無しの場合：「BASIC ファイル登録領域」が選択可能となり、選択したサイズでアロケートされます。

[BASIC ファイル登録領域]

BASIC プログラムを保存する領域のサイズを選択します。

デフォルト値	320 KB
設定項目	0～896 KB (128 KB 単位)

[フォーム登録領域]

フォームを保存する領域のサイズを選択します。

デフォルト値	192 KB
設定項目	0～896 KB (64 KB 単位)

[グラフィック登録領域]

グラフィックを保存する領域のサイズを選択します。

デフォルト値	128 KB
設定項目	0～192 KB (64 KB 単位)

[PC セーブ登録領域]

PC セーブのデータを保存する領域のサイズが表示されます。

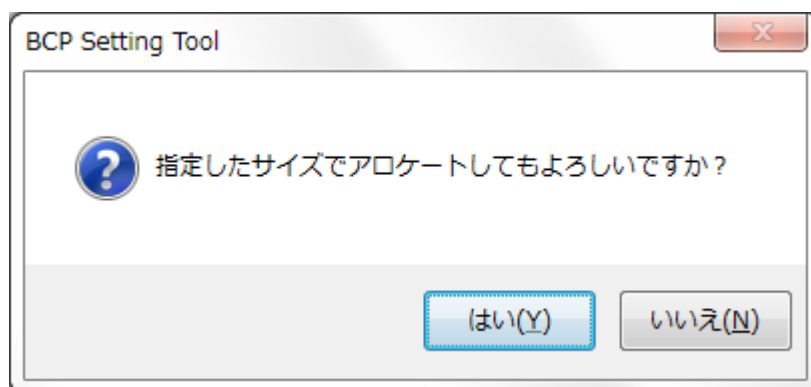
他の領域に割当てたメモリの残りの容量が割当てられます。

マイナス値にならないように他の領域を調整してください。

[アロケート]

各領域を指定されたサイズにアロケートします。

クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、処理が開始されます。

[いいえ] をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタが TPCL、TPCL1、LABEL モードで状態がアイドルの場合に実行されます。

アロケートコマンドをプリンタに送信後、メモリのアロケートが完了するまで待機します。

アロケートされるサイズに変更が無い場合も既存のデータは削除されます。

[メモリフォーマット]

指定したメモリの既存のデータが削除されます。

[場所]

フォーマットを実行するメモリを選択します。

デフォルト値	内蔵メモリ
設定項目	内蔵メモリ

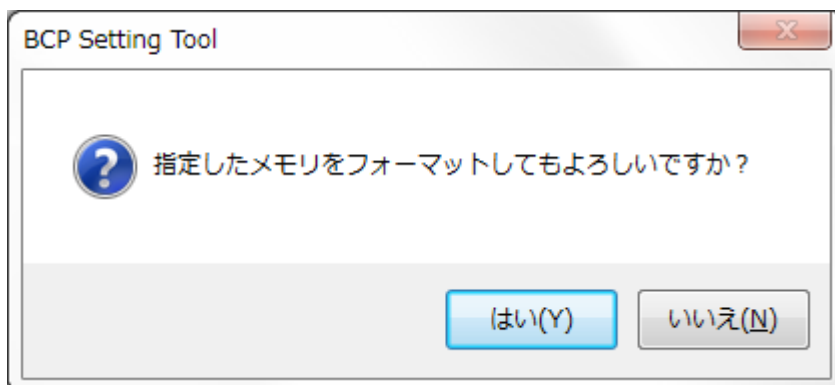
[範囲]

フォーマットを実行する範囲を選択します。

デフォルト値	PC セーブ & ビットマップ外字
設定項目	PC セーブ & ビットマップ外字、PC セーブ、ビットマップ外字、 フォーム、グラフィック、ビットマップ外字 & フォーム & グラフィック

[フォーマット]

指定したメモリの指定した範囲をフォーマットします。
クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、処理が開始されます。

[いいえ] をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタがオンライン TPCL、TPCL1、LABEL、RECEIPT、RECEIPT1 モードで状態がアイドルの場合に実行されます。

フォーマットコマンドをプリンタに送信後、メモリのフォーマットが完了するまで待機します。

[印刷コマンドモード]

指定した発行モードに変更します。

[モード]

変更するモードを選択します。

IrCOMM でのステータス自動応答の送信と頭出しフィードの設定は無効になります。

デフォルト値	TPCL
設定項目	LABEL、RECEIPT、RECEIPT1、ESC/POS、TPCL、TPCL1

[変更]

指定したモードに変更します。

クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、処理が開始されます。

[いいえ] をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

System モード以外で、状態がアイドルの場合に使用可能です。

[メンテナンスカウンタクリア]

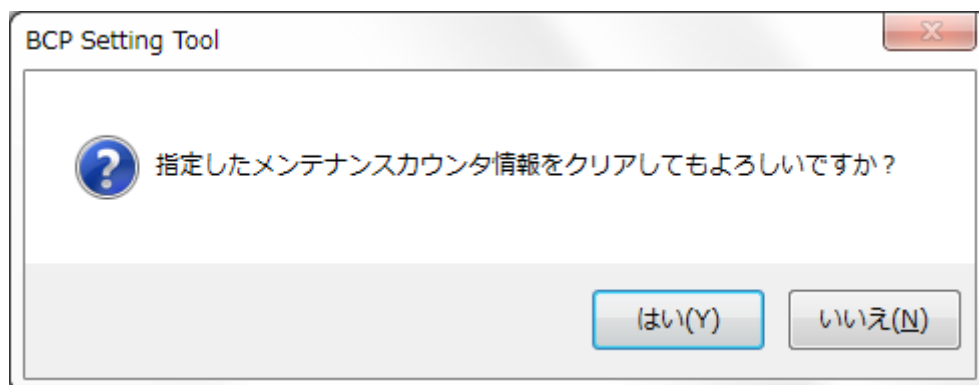
メンテナンスカウンタ情報をクリアする項目を選択します。

デフォルト値	全カウンタ
設定項目	全カウンタ、ラベル走行距離（FEED）、印字距離（PRINT）、

[クリア]

選択したメンテナンスカウンタの情報が0にクリアされます。

クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、処理が開始されます。

[いいえ] をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

完了後にメンテナンスカウンタ情報の表示が更新されます。

プリンタがサービスマン、システム管理者用システムモードで状態がアイドルの場合に実行されます。

[パラメータクリア]

[仕向地]

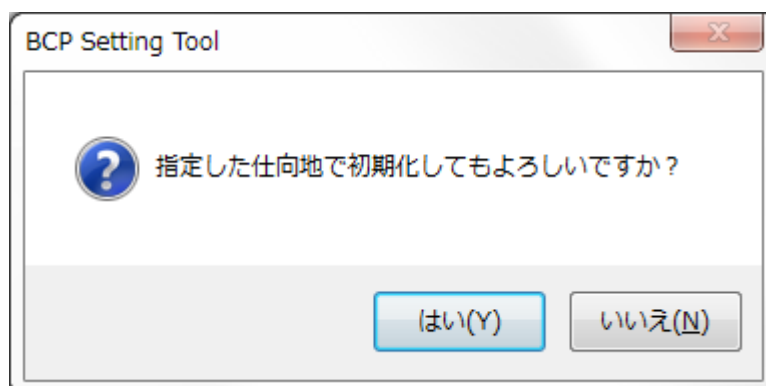
パラメータクリアを実行した後に使用する仕向地を選択します。

デフォルト値	日本
設定項目	日本、海外

[初期化]

選択した仕向地でプリンタの RAM がクリアされます。

クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、処理が開始されます。

[いいえ] をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

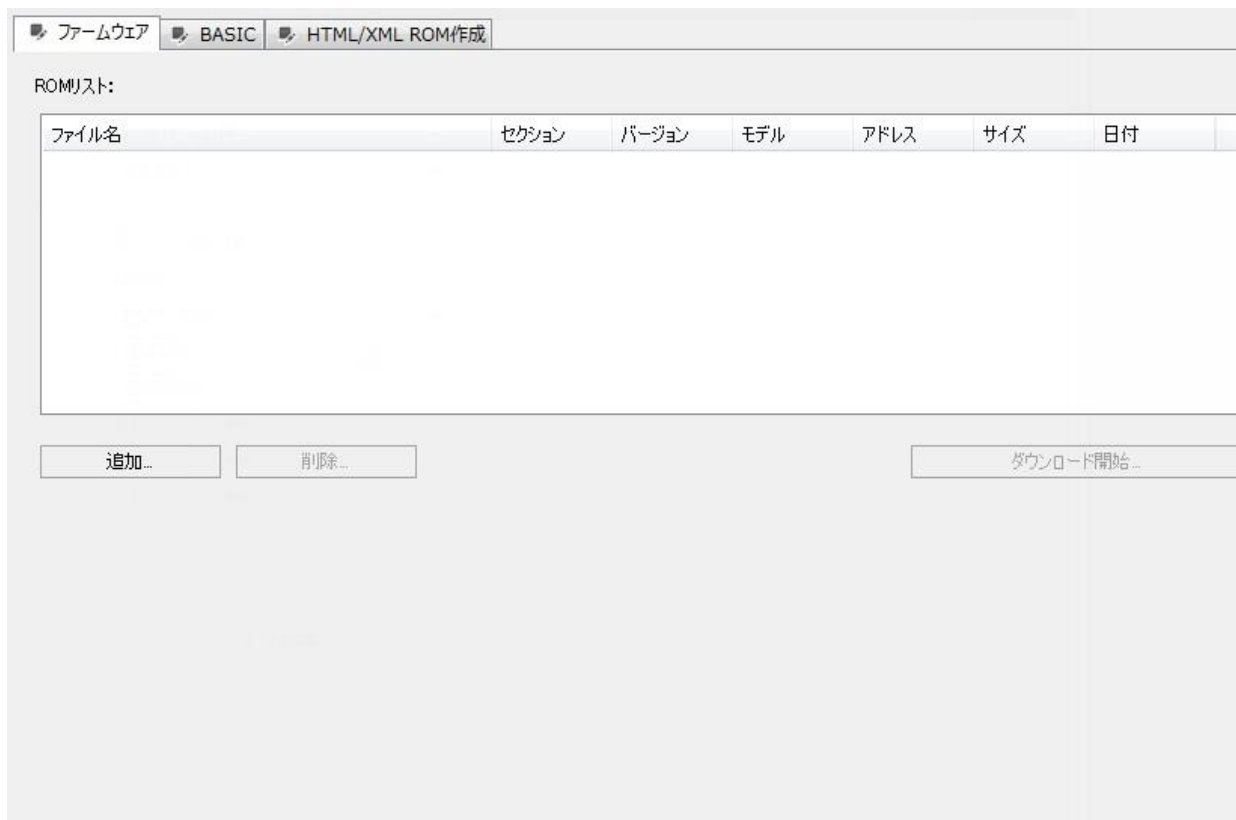
完了後にパラメータ情報の表示が更新されます。

プリンタがサービスマン、システム管理者用システムモードで状態がアイドルの場合に実行されます。

ダウンロード

プリンタにファームウェアのダウンロードを行ないます。
「メニューアイコン」の「ダウンロード」アイコンをクリックすると、表示されます。

ファームウェアダウンロードタブ



ファイル名	セクション	バージョン	モデル	アドレス	サイズ	日付
-------	-------	-------	-----	------	-----	----

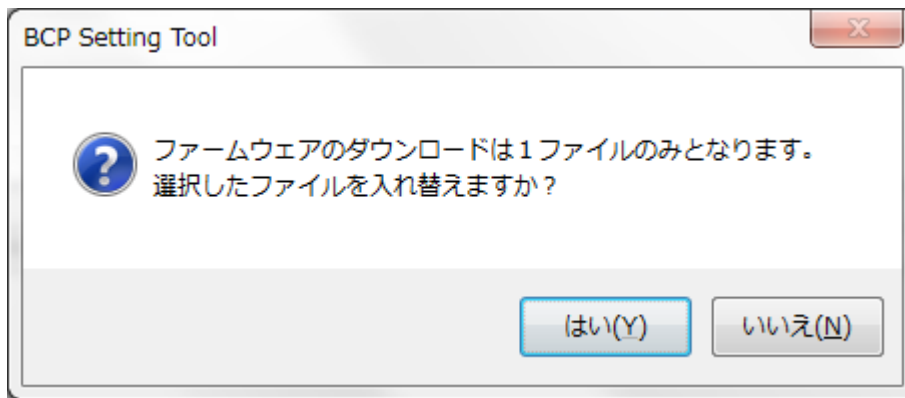
ファームウェアをダウンロードする場合、途中で電源が切れることが無い環境で実行してください。
ファームウェアの更新中にプリンタの電源が切れた場合、プリンタが起動しなくなる場合があります。
プリンタが正常に起動する場合、再度ダウンロードを行なってください。プリンタが起動しない場合、弊社営業にお問合せください。

「ROM リスト」

プリンタにダウンロードするファームウェアの ROM ファイルが表示されます。
デフォルト値は、「空リスト」になります。
ROM ファイルを選択すると、リストの下にファームウェアの情報が表示されます。

「追加...」

指定した ROM ファイルを「ROM リスト」に追加します。
クリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。ROM ファイルを指定して「開く」をクリックすると、「ROM リスト」に追加されます。
指定されたファイルが ROM 形式でない、または、「プリンタ設定」の「プリンタ」と機種が異なる場合、エラーメッセージが表示されます。
ROM ファイルは 1 つのファイルのみ追加可能です。
ROM ファイルが既に存在する状態で追加した場合、以下の確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、ファイルが入れ替わります。

「いいえ」をクリックすると、中止します。

[削除]

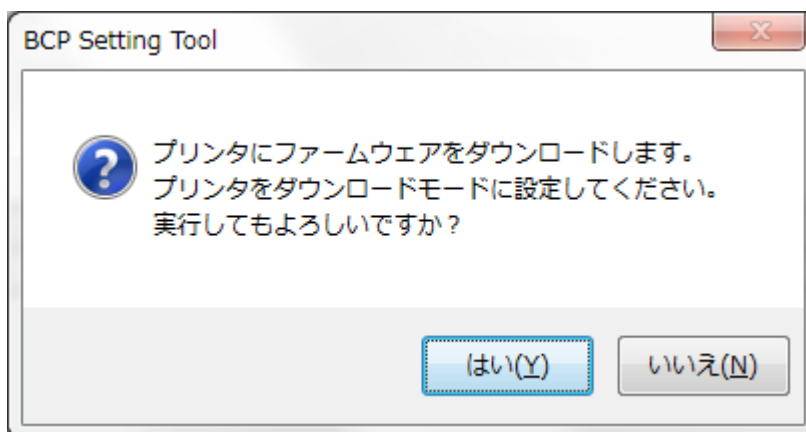
クリックすると、[ROM リスト] で選択した ROM ファイルが削除されます。

[ROM リスト] で ROM ファイルを選択した場合、有効になります。

[ダウンロード開始...]

[ROM リスト] の ROM ファイルをプリンタにダウンロードします。

クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、処理が開始されます。

「いいえ」をクリックすると、中止します。

ROM ファイルの読み込みに失敗、または、ダウンロードデータの生成に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

[ROM リスト] が設定されていない場合、無効になります。

ROM ファイルをプリンタに送信後、プリンタの更新が完了するまで待機します。

※ プリンタファームウェアのダウンロードはダウンロードモードで実行して下さい。

ダウンロード開始前にプリンタがダウンロードモードであることを確認して下さい。

※ ファームウェアのダウンロードは、プリンタ側の制御コードの設定、ツール側の制御コードの設定ともに、“自動”に設定して行ってください。

※ WLAN FW は選択できません。

BASICダウンロードタブ

ファームウェア
BASIC
HTML/XML ROM作成

☐ メモリアロケート

2バイト文字: 日本語(漢字)

ビットマップ外字登録領域: 448 KB (7 Block)

☒ BASIC領域を保持する

BASICファイル登録領域:

フォーム登録領域: 192 KB (3 Block)

グラフィック登録領域: 128 KB (2 Block)

PCセーブ登録領域:

	タイプ	開始ブロック	使用ブロック	ファイル名	追加	クリア
▶	メインプログラム	0			追加	クリア
	システムモードプログラム	1			追加	クリア
	データファイル	2			追加	クリア

ダウンロード開始...

BASIC プログラムをダウンロードする場合、途中で電源が切れることが無い環境で実行してください。
ダウンロード中にプリンタの電源が切れた場合、再度ダウンロードを行なってください。

[メモリアロケート]

内蔵メモリを各領域に指定したサイズで割当てされます。

[2バイト文字]

プリンタに搭載されたフォントを選択します。

デフォルト値	日本語（漢字）
設定項目	未実装、日本語（漢字）、中国語、韓国語（ハングル）

指定したフォントによって割当て可能なメモリ容量が異なります。

2バイト文字	総容量
未実装	3,200 KB
日本語（漢字）	1,344 KB
中国語	1,024 KB
韓国語（ハングル）	2,112 KB

[ビットマップ外字登録領域]

ビットマップ外字を保存する領域のサイズを選択します。

デフォルト値	448 KB
設定項目	0～3200 KB（64 KB 単位）

[BASIC 領域を保持する]

BASIC ファイル登録領域を保持するかをチェック有／無により設定します。

チェック有りの場合：BASIC ファイルの登録領域はアロケートされずに既存のデータが保持されます（デフォルト）。

チェック無しの場合：[BASIC ファイル登録領域] が選択可能となり、選択したサイズでアロケートされます。

[BASIC ファイル登録領域]

BASIC プログラムを保存する領域のサイズを選択します。

デフォルト値	320 KB
設定項目	0～896 KB (128 KB 単位)

[フォーム登録領域]

フォームを保存する領域のサイズを選択します。

デフォルト値	192 KB
設定項目	0～896 KB (64 KB 単位)

[グラフィック登録領域]

グラフィックを保存する領域のサイズを選択します。

デフォルト値	128 KB
設定項目	0～192 KB (64 KB 単位)

[PC セーブ登録領域]

PC セーブのデータを保存する領域のサイズが表示されます。

他の領域に割当てたメモリの残りの容量が割当てられます。

マイナス値にならないように他の領域を調整してください。

[BASIC メインプログラム]

BASIC のメインプログラムを指定します。

指定されたファイルがプリンタの指定されたブロックにダウンロードされます。

開始ブロック

プログラムを保存するプリンタの領域を指定します。

他のブロックと重ならない値を指定してください。

デフォルト値	0
設定範囲	0～13

プログラムファイル

[追加]ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。BASIC メインプログラムを指定して [開く] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。

ファイルが指定されていない場合、[BASIC メインプログラム] は有効な設定になりません。

ファイルの読み込み、または、ダウンロードデータの生成に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

[BASIC システムモードプログラム]

BASIC のシステムモードプログラムを指定します。

指定されたファイルがプリンタの指定されたブロックにダウンロードされます。

開始ブロック

プログラムを保存するプリンタの領域を指定します。

他のブロックと重ならない値を指定してください。

デフォルト値	1
設定範囲	0～13

プログラムファイル

[追加]ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。BASIC システムモードプログラムを指定して [開く] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。

ファイルが指定されていない場合、[BASIC システムモードプログラム] は有効な設定になりません。

ファイルの読み込み、または、ダウンロードデータの生成に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

[BASIC データファイル]

BASIC のデータファイルを指定します。

指定されたファイルがプリンタの指定されたブロックにダウンロードされます。

開始ブロック

プログラムを保存するプリンタの領域を指定します。

他のブロックと重ならない値を指定してください。

デフォルト値	2
設定範囲	0～13

データファイル

[追加]ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。BASIC のデータファイルを指定して [開く] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。

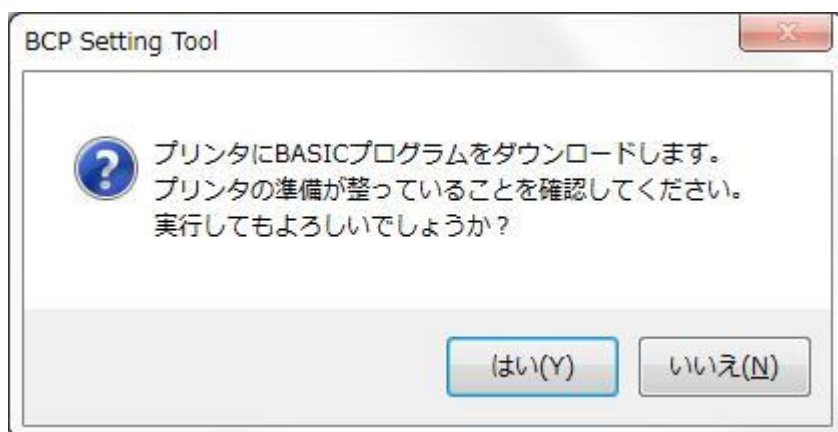
ファイルが指定されていない場合、[BASIC データファイル] は有効な設定になりません。

ファイルの読み込み、または、ダウンロードデータの生成に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

[ダウンロード開始...]

有効された項目のプログラムのダウンロードや設定の更新を実行します。

クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、処理が開始されます。

[いいえ] をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタがオンラインモードで状態がアイドルの場合に実行されます。

有効な設定がされていない場合、無効になります。

プログラムやデータをプリンタに送信後、プリンタの更新が完了するまで待機します。

複数の項目が有効になった場合、上から順に同じ処理が実行されます。

プリンタの現在のプログラムに関係なく、指定された設定でプログラムのダウンロードや設定の更新が行なわれます。

※ BASIC のダウンロードは、プリンタ側の制御コードの設定、ツール側の制御コードの設定ともに、“自動” に設定して行ってください。

HTML/XML ROM作成タブ

ファームウェアBASICHTML/XML ROM作成

ROMタイプ:

XML

ソースパス:

...

セクション:

XML

バージョン:

V1.0

モデル:

B-EP

アドレス:

00390000

サイズ:

256

日付:

01JAN2008

ソースリスト:

ROMリスト:

No.	ID	ファイル名	オフセット	サイズ
-----	----	-------	-------	-----

作成

[ROM タイプ]

作成する ROM ファイルの種別を選択します。
設定により、「Load Address」と「Size」が異なります。

デフォルト値	XML
設定項目	XML

[ソースパス]

XML 用ファイルが格納された場所を指定します。

...

 ボタンをクリックすると、フォルダの選択画面が表示されます。XML 用ファイルが格納されたフォルダ指定して [OK] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。

[ROM タイプ] が「XML」の場合、[ソースリスト] にソースファイルが表示されます。
指定されたフォルダにファイルが 1 つもない場合、エラーメッセージが表示されます。空のファイル、または、ファイル名が 24 文字以上のファイルは含まれません。

[セクション]

XML 用 ROM のセクション情報を指定します。
※デフォルト設定から変更しないでください。

[バージョン]

XML 用 ROM のバージョン情報を指定します。
英数字とドット記号が使用できます。最大 5 文字まで入力できます。

[モデル]

XML 用 ROM 情報のモデル名を指定します。
※デフォルト設定から変更しないでください。

[アドレス]

XML 用 ROM のアドレス情報を指定します。
※デフォルト設定から変更しないでください。

[サイズ]

XML 用 ROM のサイズを指定します。
※デフォルト設定から変更しないでください。

[日付]

XML 用 ROM の日付情報を指定します。
年月日を「DDMMYYYY」の形式で入力してください。
DD : 日 (00,01,02.....29,30,31)
MMM : 月 (JAN,FEB,MAR,APR,MAY,JUN,JUL,AUG,SEP,OCT,NOV,DEC)
YYYY : 年 (2016,2017,2018....)

[ソースリスト]

[ROM タイプ] で「XML」の場合、[ソースパス] に指定されたフォルダ下の特定パスにあるファイルが表示されます。
表示されるファイルは、XML 用の ROM ファイルを作成するための元ファイルになります。

\XML フォルダ :	XML 用ファイル
\GRP_DATA フォルダ :	グラフィック用ファイル
\ENG\HTML フォルダ :	英語用ファイル
\ENG\PASS フォルダ :	英語用ファイル
\JPN\HTML フォルダ :	日本語用ファイル
\JPN\PASS フォルダ :	日本語用ファイル
\MAIL フォルダ :	メール用ファイル
\MAIL\TEXT フォルダ :	メール用ファイル

ファイルリストの下部に表示された容量と、MAX サイズに対するパーセントを表示します。

[ROM リスト]

作成された ROM ファイル内のデータ構成が表示されます。
ROM ファイルの作成を実行すると、表示をクリアし、ROM ファイルに変換されたファイルの状況が表示されます。
英語用ファイル、日本語用ファイルで同一のファイル名、ファイル内容のものは、共通ファイルとして、1 つのファイルとして扱われます。

[作成]

指定した条件でファイルリストのファイルから ROM ファイルが作成されます。
クリックすると、処理が開始されます。
作成中はキャンセルできません。
[ROM リスト] に変換された ROM データの結果が表示されます。
ファイルリストと [出力ファイル] が設定されていない場合、無効になります。
作成された ROM ファイルは、[ファームウェアダウンロード] タブでプリンタにダウンロードしてください。
ファイル数が 128 を超えた、または、ROM リストの全ファイルのトータルが「Size」をオーバーした場合、エラーメッセージが表示されます。
ファイルの読み込み、または、ROM ファイルの作成、または、保存に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

ツール

プリンタを使用する上で便利な機能を使用できます。
「メニューアイコン」の「ツール」アイコンをクリックすると、表示されます。

ツールタブ



「ファイル送信...」

指定したファイルがバイナリデータとしてプリンタに送信されます。
クリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。任意のファイルを指定して「開く」をクリックすると、処理が開始されます。
処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。
外字ファイルやプリンタコマンドファイル等をプリンタに送信する場合に使用します。
プリンタの状態に関係なく実行されます。

外字作成タブ

[指定方法]

ビットマップパスの指定方法を選択します。

1つのビットマップファイルから外字を作成する場合、「ファイル」を選択してください。

複数のビットマップファイルから外字を作成する場合、「フォルダ」を選択してください。

デフォルト値	ファイル
設定項目	ファイル、フォルダ


[場所]

登録するメモリの種別を選択します。

デフォルト値	内蔵メモリ
設定項目	内蔵メモリ

[ビットマップパス]

ビットマップが格納された場所を指定します。

 ボタンをクリックすると、パスの選択画面で指定した場所のフルパスが表示されます。

ビットマップファイルの形式は、2色で作成されたモノクロビットマップのみ使用可能です。ビットマップの1ドットは、ペイントでサイズをピクセル単位で指定したときの1ピクセルに相当します。

〔指定方法〕で「ファイル」を選択した場合、ファイルの選択画面で1つのビットマップファイルを指定します。

指定されたファイルがモノクロビットマップでない場合、エラーメッセージが表示されます。

指定されたファイルが登録可能な幅や高さを超えている場合、エラーメッセージが表示されます。

〔指定方法〕で「フォルダ」を選択した場合、フォルダの選択画面で複数のビットマップファイルが格納されたフォルダを指定します。指定したフォルダ内のファイル名が形式と一致したビットマップファイルが〔ビットマップリスト〕に表示されます。

指定されたフォルダに正しい形式のモノクロビットマップが無かった場合、エラーメッセージが表示されます。

◆ビットマップファイル名の形式

G_“外字種類”“外字コード”（_“レフトオフセット”_“トップオフセット”_“文字間隔”）.bmp

<例> 外字種類：01、外字コード：20の場合、G_0120.bmp or G_0120_0_0_0.bmp

外字種類：51、外字コード：FFFFの場合、G_51FFFF.bmp or G_51FFF_0_0_0.bmp

◆ビットマップファイルの制限

- [外字種類] が「41」の場合、16 x 16 ドット
- [外字種類] が「42」の場合、24 x 24 ドット
- [外字種類] が「43」の場合、32 x 32 ドット
- [外字種類] が上記以外の場合
- [場所] が「内蔵メモリ」の場合、720 x 720 ドット以下

[ビットマップリスト]

[ビットマップパス] に指定された場所のビットマップファイルが表示されます。
表示されたファイルは、外字ファイルを作成するための元ファイルになります。

[サイズ]

[ビットマップリスト] で選択されたビットマップファイルのサイズとイメージが表示されます。

[外字種類]

外字として登録されるときに使用する種類を指定します。
[指定方法] で「フォルダ」が選択された場合、無効になります。

デフォルト値	01
設定範囲	[場所] が「内蔵メモリ」： 01～43、51

[外字コード]

外字として登録されるときに使用する文字コードを HEX 形式で指定します。
2 文字で 1 文字の HEX を表します。(例: “0”→“30”、“A”→“41”)
[指定方法] で「フォルダ」が選択された場合、無効になります。

デフォルト値	20
設定範囲	[外字種類] が「01」～「40」： 20～FF
	[外字種類] が「41」～「43」： 40～7E、80～FC
	[外字種類] が「51」： 2020～FFFF

[レフトオフセット]

印字する基点座標に対する左側のオフセット量を指定します。
[外字種類] で「41」～「43」が選択された場合、無効になります。
[指定方法] で「フォルダ」が選択された場合、無効になります。

デフォルト値	0 ドット
設定範囲	[場所] が「内蔵メモリ」： 0～719 ドット

[トップオフセット]

印字する基点座標に対する上側のオフセット量を指定します。
[外字種類] で「41」～「43」が選択された場合、無効になります。
[指定方法] で「フォルダ」が選択された場合、無効になります。

デフォルト値	0 ドット
設定範囲	[場所] が「内蔵メモリ」： 0～719 ドット

[文字間隔]

次の印字する文字との間隔に対する調整量を指定します。
[外字種類] で「41」～「43」が選択された場合、無効になります。
[指定方法] で「フォルダ」が選択された場合、無効になります。

デフォルト値	0 ドット
設定範囲	[場所] が「内蔵メモリ」： 0～999 ドット

[確認ファイル]

作成された外字ファイルを確認するための印字コマンドファイルを作成するか否かを設定します。
チェックボックスがチェック有りの場合、指定した [倍率]、[印字方式]、[ラベル長]、[ラベル幅] の設定で印字コマンドファイルが作成されます。印字速度は“自動”、センサーは“センサー無し”、発行タイプは“連続発行”固定になります。
プリンタに外字ファイルの登録が完了した後に送信すると登録された外字を確認することができます。
拡張子は“prn”、ファイル名は出力ファイル名になります。

[指定方法] で「フォルダ」が選択された場合、無効になります。

[倍率]

登録された外字を印字確認するときの倍率を選択します。

デフォルト値	1.0 x 1.0
設定項目	0.5 x 0.5、1.0 x 1.0、2.0 x 2.0、3.0 x 3.0、1.0 x 2.0、2.0 x 1.0

[印字方式]

印字方式を選択します。

デフォルト値	直接感熱
設定項目	直接感熱

[ラベル長]

ラベルの有効印字長を指定します。ラベルギャップは 3mm 固定になります。

デフォルト値	60 mm
設定範囲	B-EP2DL-G (203dpi/300dpi) : 7~997 mm B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi), B-EP4DL-G/T42 (203dpi/300dpi) : 7~500 mm

[ラベル幅]

ラベルの有効印字幅を指定します。

デフォルト値	B-EP2DL-G (203dpi/300dpi) : 48 mm B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi) , B-EP4DL-G/T42 (203dpi/300dpi) : 104 mm
設定範囲	B-EP2DL-G (203dpi/300dpi) : 10~48 mm B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi) , B-EP4DL-G/T42 (203dpi/300dpi) : 10~104 mm

[出力ファイル]

外字データを保存するファイルを指定します。



ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。保存するファイルを指定して [保存] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。

拡張子は“gai”になります。

指定されたファイルは初期化され、作成された外字データが保存されます。

[作成]

指定した条件でビットマップからプリンタの外字コマンドが作成されます。

クリックすると、処理が開始されます。処理が完了するとメッセージボックスを表示します。

[ビットマップパス] と [出力ファイル] が設定されていない場合、無効になります。

[指定方法] で「ファイル」を選択した場合、指定されたビットマップファイルから外字ファイルが作成されます。

[指定方法] で「フォルダ」を選択した場合、[ビットマップリスト] のビットマップファイルから 1 つの外字ファイルが作成されます。

外字コマンドはニブルデータで作成されます。

作成された外字ファイルは、[ツール] タブの [ファイル送信] でプリンタに登録してください。

ファイルの読み込み、または、外字データの作成、または、保存に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

テスト印字タブ

ツール

外字作成

テスト印字

印字パターン

印字パターン:

斜線1ドット印字

解像度:

203 dpi

印字条件

印字枚数

1

枚

印字速度:

自動

センサー:

センサー無し

発行タイプ

連続発行

印字方式:

直接感熱

ラベル長:

40

mm

ラベルギャップ:

3

mm

ラベル幅:

54

mm

濃度微調:

0

テスト印字

[印字パターン]

[印字パターン]

印字するパターンを選択します。

デフォルト値	斜線 1 ドット印字
設定項目	斜線 1 ドット印字、斜線 3 ドット印字、キャラクタ印字、バーコード印字

[解像度]

解像度を選択します。

デフォルト値	203dpi
設定項目	B-EP2DL-G (203dpi) : 203dpi B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi) ,B-EP4DL-G/T42 (203dpi/300dpi) : 203dpi、300dpi

[印字条件]

[印字枚数]

印字する枚数を指定します。

デフォルト値	1
設定範囲	1～9999

[印字速度]

設定変更はできません。

[センサー]

センサーを選択します。

デフォルト値	センサー無し
設定項目	センサー無し、反射センサー、透過センサー、透過センサー（手動）、 反射センサー（手動）

[発行タイプ]

設定変更はできません。

[印字方式]

設定変更はできません。

[ラベル長]

ラベルの有効印字長を指定します。

デフォルト値	60 mm
設定範囲	B-EP2DL-G (203dpi) : B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi) 解像度 203 dpi : B-EP4DL-G/T42 (203dpi/300dpi) 解像度 203 dpi : 7～997 mm B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi) 解像度 300 dpi : B-EP4DL-G/T42 (203dpi/300dpi) 解像度 300 dpi : 7～500 mm

[ラベルギャップ]

ラベル間のギャップ長を指定します。

デフォルト値	3 mm
設定範囲	3～7 mm

[ラベル幅]

ラベルの有効印字幅を指定します。

デフォルト値	B-EP2DL-G (203dpi) : 48 mm B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi) , 解像度 203 dpi : B-EP4DL-G/T42 (203dpi/300dpi) 解像度 203 dpi : 104 mm B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi) 解像度 300 dpi : B-EP4DL-G/T42 (203dpi/300dpi) 解像度 300 dpi : 105 mm
設定範囲	B-EP2DL-G (203dpi) : 10～48 mm B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi) 解像度 203 dpi : B-EP4DL-G/T42 (203dpi/300dpi) 解像度 203 dpi : 10～104 mm B-EP4DL-G/T (203dpi/300dpi) 解像度 300 dpi : B-EP4DL-G/T42 (203dpi/300dpi) 解像度 300 dpi : 10～105 mm

[濃度微調整]

濃度微調整を指定します。

濃度微調コマンドで設定された値は、再設定されるまで有効になります。

デフォルト値	0
設定範囲	-30～+30

[テスト印字]

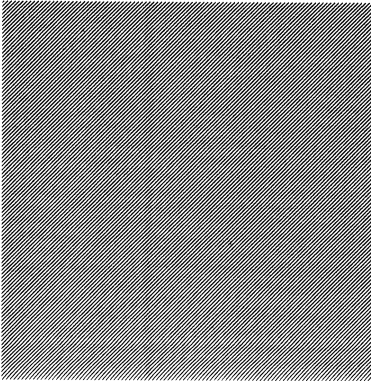
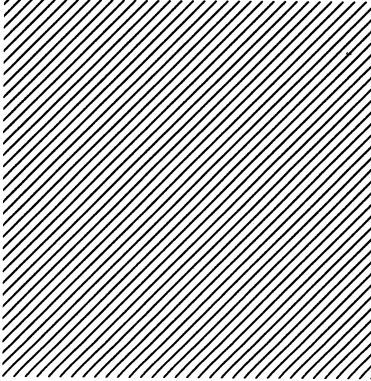








指定した条件でプリンタから印字されます。

クリックすると、処理が開始されます。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタが TPCL モードまたは TPCL1 で状態がアイドルの場合に実行されます。

ファイルの読み込み、または、イメージデータの作成に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

<p>斜線 1 ドット</p> 	<p>斜線 3 ドット</p> 
<p>キャラクタ (B-EP2DL)</p> <p>A/0123ABCDEF GHIJ B/0123ABCDEF G C/0123ABCDEF G D/0123ABCDEF G/0123ABCDEF GHIJKLMNOP 漢字 明朝 A B</p>	<p>バーコード (B-EP2DL)</p> <p>0: JAN8, EAN8  49400458 3: CODE39 (Standard)  * A B C 1 2 3 *</p>
<p>キャラクタ (B-EP4DL)</p> <p>A/0123ABCDEF GHIJ G/0123ABCDEF GHIJKLMNOP B/0123ABCDEF G H/0123ABCDEF GHIJ C/0123ABCDEF G I/0123ABCDEF G D/0123ABCDEF J/0123ABCDEF G E/0123ABCDEF K/0123ABCDEF F/0123ABCDEF L/0123ABCDEF G 0123ABCDEF GHIJKL M/0123ABCDEF N/0123ABCDEF O/0123ABCDEF P/0123ABCDEF A B 0123456 0123456 0123456</p>	<p>バーコード (B-EP4DL)</p> <p>0: JAN8, EAN8 4: NW7  49400458 2: ITF  012345678905 3: CODE39 (Standard) 9, A: CODE128  * A B C 1 2 3 *  a1234567890a 5: JAN13, EAN13  4 901480079516  A B C D E F G H I</p>

5 付録

エラーメッセージ一覧

メッセージ	説明
ログイン画面	
パスワードが正しくありません。 正しいパスワードを入力してください。 パスワードでは大文字と小文字が区別されます。	指定されたパスワードが間違っています。
パスワード変更画面	
古いパスワードが正しくありません。 正しいパスワードを入力してください。 パスワードは大文字と小文字が区別されます。	指定されたパスワードが、現在の設定されているパスワードと一致しません。
新しいパスワードと新しいパスワードの確認入力 が一致しません。 正しいパスワードを入力してください。 パスワードは大文字と小文字が区別されます。	新しいパスワードと新しいパスワードの確認入力に指定 されたパスワードが一致しません。
パラメータ設定画面	
指定されたファイルはプリンタの設定情報ファイル ではありません。 正しい形式のファイルを選択してください。	指定されたファイルが読込めません。 指定されたファイルはプリンタの設定情報ファイルの形 式ではありません。
下記パラメータの読み込みに失敗しました。デフォ ルト値を設定します。 項目名 インポートする値	インポートする値が、項目名に対しての設定可能な値では ありません。 この項目の値にはデフォルト値が設定されます。 その他の項目は、インポートした値が設定されます。
指定されたファイルへの保存に失敗しました。 ファイルが書き込み可能な状態かを確認してくださ い。	指定されたファイルに書込めません。
入力された値が正しくありません。 タブ名 グループ名 項目名	指定された値が入力条件を満たしていません。
カスタム言語ファイル	
指定されたファイルはカスタム言語ファイルでは ありません。 正しい形式のファイルを選択してください。	指定されたファイルが読込めません。 指定されたファイルはカスタム言語ファイルの形式では ありません。
指定されたファイルへの保存に失敗しました。 ファイルが書き込み可能な状態かを確認してくださ い。	指定されたファイルに書込めません。

ファームウェアダウンロードタブ	
指定されたファイルはプリンタの ROM ファイルではありません。 正しい形式のファイルを指定してください。	指定されたファイルが読込めません。 指定されたファイルはプリンタの ROM ファイルの形式ではありません。
指定されたファイルは「プリンタ設定」のプリンタと異なる機種種の ROM ファイルです。 正しい ROM ファイルを選択してください。	指定された ROM ファイルのプリンタ情報がプリンタ設定画面のプリンタと一致しません。
ツールタブ	
指定されたファイルの読込みに失敗しました。 ファイルが読込み可能な状態かを確認してください。	指定されたファイルを読込めません。
外字作成タブ	
指定されたフォルダに登録可能なモノクロビットマップファイルがありません。 正しい形式のファイルがあるフォルダを指定してください。	指定されたフォルダに有効なモノクロビットマップファイルが見つかりません。 ・ファイル名 ・ビットマップ形式 ・ビットマップサイズ
指定されたファイルはモノクロビットマップファイルではありません。 正しい形式のファイルを指定してください。	指定されたファイルはモノクロビットマップファイルではありません。
指定されたファイルは登録可能な外字の幅、または、高さをオーバーしています。 正しいサイズのファイルを指定してください。	ビットマップの幅、または、高さドットが外字として登録可能なドット数を超過しています。
外字ファイルの作成に失敗しました。 ビットマップリストのビットマップファイルが読込み可能な状態か確認してください。	ビットマップリストのビットマップファイルが読込めません。 外字コマンドの作成に失敗しました。
指定されたファイルへの保存に失敗しました。 ファイルが書込み可能な状態かを確認してください。	指定されたファイルに書込めません。
テスト印字タブ	
印字データの作成に失敗しました。 本製品の再起動後に実行して印字できない場合、再インストールしてください。	印字するイメージを保存したファイルが読込めません。 印字コマンドの作成に失敗しました。
完了画面	
指定されたファイルへの保存に失敗しました。 ファイルが書込み可能な状態かを確認してください。	指定されたファイルに書込めません。

2023 年 5 月 第 12 版発行

発 行 東芝テック株式会社

〒141-8562

東京都品川区大崎 1 丁目 11 番 1 号
ゲートシティ大崎ウエストタワー

©東芝テック株式会社 2017-2023

無断複写および転載を禁ず